

# アムンディ・アラブ株式ファンド

追加型投信／海外／株式



このファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**Amundi**

ASSET MANAGEMENT  
アムンディ アセットマネジメント

**アムンディ・ジャパン株式会社**

投資信託説明書  
(交付目論見書)  
2010.07

# アムンディ・アラブ株式ファンド

追加型投信／海外／株式



このファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**Amundi**

ASSET MANAGEMENT  
アムンディ アセットマネジメント

**アムンディ・ジャパン株式会社**

1. 「アムンディ・アラブ株式ファンド」の募集については、委託会社は金融商品取引法（昭和23年法第25号）第5条の規定に基づく有価証券届出書を平成22年1月15日に関東財務局長に提出しており、平成22年1月16日にその届出の効力が生じております。また、同法第7条の規定により有価証券届出書の訂正届出書を平成22年4月30日および平成22年7月1日に関東財務局長に提出しております。
2. この投資信託説明書（交付目論見書）は、金融商品取引法第13条の規定にもとづく目論見書のうち、同法第15条第2項の規定に基づき、投資家がファンドを取得する際にあらかじめまたは同時に交付される目論見書です。
3. 投資信託説明書（請求目論見書）は、金融商品取引法第13条の規定にもとづく目論見書のうち、同法第15条第3項の規定に基づき、投資家の請求により交付される目論見書です。なお、請求目論見書をご請求された場合は、投資家の皆様ご自身でその旨を記録されるようお願いいたします。
4. 「アムンディ・アラブ株式ファンド」の価額は、ファンドに組み入れられる有価証券等の値動き、為替相場の変動等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。ファンドは元本が保証されているものではありません。

#### <お知らせ>

委託会社は、平成22年7月1日付で、商号を「ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社」から「アムンディ・ジャパン株式会社」に、ファンド名を「SG アラブ株式ファンド」から「アムンディ・アラブ株式ファンド」に変更いたしました。

なお、同日以前の記載内容につきましては、変更前の委託会社の商号およびファンド名を使用しております。

下記の事項は、この「アムンディ・アラブ株式ファンド」(以下「ファンド」という。)をお申込みされるご投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

## 記

### ■ファンドにかかるリスクについて

ファンドは、値動きのある投資信託証券を主要投資対象としますので、組入有価証券の価格の下落や、組入有価証券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「信用リスク」または「カントリーリスク」などがあります。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の本文「第二部 ファンド情報 3 投資リスク」をご覧ください。

### ■ファンドにかかる手数料等について

<直接ご負担いただく費用>

#### ◆申込手数料

取得申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。なお、この申込手数料率は、本書作成日現在、3.15% (税抜き 3.00%)が上限となっております。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料率を記載した書面にてご確認ください。

#### ◆換金(解約)手数料

ファンドには換金(解約)手数料はありません。

#### ◆信託財産留保額

ご解約請求のお申込受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.2%を乗じて得た額とします。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の本文「第二部 ファンド情報 4 手数料等及び税金」をご覧ください。

<間接的にご負担いただく費用>

◆信託報酬

ファンドの純資産総額に年 1.197% (税抜き 年 1.140%) の率を乗じて得た額とします。ファンドが投資するサブファンドの本書作成日現在の運用報酬額の上限は、それぞれの運用資産の純資産総額に対し、それぞれ年率 1.0% および 0.15% を乗じて得た額となります。この他、「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」には成功報酬がかかります。したがって、当該信託報酬等を考慮した場合のファンドの実質的な信託報酬率の上限は、年率 2.197% (=1.197%+1.0%。国内投資信託にかかる消費税を含む。) + 成功報酬となり、実際の信託報酬額はサブファンドの組入状況、運用状況によって変動します。

◆その他の費用

- ・監査報酬
- ・組入有価証券売買時の売買委託手数料
- ・資産を外国で保管する場合の費用 等
- ・年率 0.01% 以内の年次税 (各サブファンドにそれぞれかかります。)

上記その他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。これらの費用につきましては、事前に計算できないことから、実際にご負担いただく費用の金額や合計額、それらの上限額および計算方法は記載しておりません。

※ 詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) の本文「第二部 ファンド情報 4 手数料等及び税金」をご覧ください。

以上

アムンディ・ジャパン株式会社

## 届出の対象とした募集

有価証券届出書提出日	平成22年1月15日
発行者名	アムンディ・ジャパン株式会社
代表者の役職氏名	代表取締役社長 クリスチャン・ロメイヤー
本店の所在の場所	東京都千代田区内幸町一丁目2番2号

## 届出の対象とした募集

募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称	アムンディ・アラブ株式ファンド
募集内国投資信託受益証券の金額	継続募集額：上限 3,000億円
有価証券届出書の写しを縦覧に供する場所	該当事項はありません

## 目次

投資信託説明書（交付目論見書）の概要	.....	巻頭
第一部 証券情報	.....	1
第二部 ファンド情報	.....	5
第1 ファンドの状況	.....	5
1 ファンドの性格	.....	5
2 投資方針	.....	10
3 投資リスク	.....	17
4 手数料等及び税金	.....	20
5 運用状況	.....	23
6 手続等の概要	.....	29
7 管理及び運営の概要	.....	32
第2 財務ハイライト情報	.....	36
第3 内国投資信託受益証券事務の概要	.....	40
第4 ファンドの詳細情報の項目	.....	41
約 款	.....	巻末

## 投資信託説明書（交付目論見書）の概要

投資信託説明書（交付目論見書）の主要内容を概要としてまとめております。  
ご投資家の皆様におかれましては、本概要を参考に本文をよくお読みいただき、商品の内容・リスクを十分ご理解のうえ、お申込みくださいますようお願い申し上げます。

## アムンディ・アラブ株式ファンド

商品分類	追加型投信／海外／株式 商品分類に関する詳細は「第二部 ファンド情報」をご参照ください。
運用の基本方針	この投資信託は、投資信託証券への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業（中東・北アフリカ諸国の企業を含みます。）の株式等に分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
ファンドのリスク	ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。
信託期間	原則として無期限
決算日	年2回決算、4月、10月の原則15日。当該日が日本の休業日の場合は翌営業日とします。
分配方針	原則として、決算時に基準価額水準等を勘案して分配を行う方針です。
お申込日	原則として毎営業日（午後3時まで、わが国の金融商品市場の半休日の場合には午前11時まで。ただし海外の休業日の場合は受け付けません。）※ <sup>1</sup> に取得のお申込みができます。
お申込価額	取得のお申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
お申込単位	収益分配金の受取り方法により、分配金受取りコースと分配金再投資コースの2つの申込コースがございます。取り扱う申込コースおよびその名称は販売会社により異なります。また各申込コースの申込単位は、販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お申込手数料率	販売会社が独自に定める料率とします。本書作成日現在、お申込手数料率は3.15%（税抜き3.00%）が上限となっております。
ご解約（換金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則として毎営業日（午後3時まで、わが国の金融商品市場の半休日の場合には午前11時まで。ただし海外の休業日の場合は受け付けません。）※<sup>1</sup>にご解約のお申込み（一部解約の実行の請求）ができます。</li> <li>ご解約金の支払いは、ご解約のお申込受付日から起算して、原則として6営業日目に降となります。</li> </ul>
ご解約価額	ご解約お申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した解約価額とします。
ご解約単位	ご解約単位は、販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	ご解約お申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.2%を乗じて得た額とします。
信託報酬	純資産総額に対して年率1.197%（税抜き1.140%）※ <sup>2</sup> を乗じて得た額とします。 ※信託報酬の内訳等詳細につきましては、投資信託説明書本文をご覧ください。
委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社
受託会社	株式会社りそな銀行

※1 上記所定の時間までにお申込みが行われ、かつ、それにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とさせていただきます。これを過ぎてからのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。また海外休業日はルクセンブルクの銀行休業日です。

※2 信託報酬の内訳等詳細につきましては、投資信託説明書本文をご覧ください。

## ファンドの特色

### 1 主としてアラブ地域を中心とした中東・北アフリカ諸国で事業を展開する企業\*に実質的に投資します。

※ サウジアラビア、アラブ首長国連邦 (UAE)、クウェート、オマーン、カタール、バーレーン、エジプト、モロッコ、チュニジア、レバノン、ヨルダン等の企業または同地域において主な事業を展開する企業の株式等（これに準じるワラントや債券等を含みます）を実質的な投資対象とします。実質的な投資対象国はこれらに限定するものではなく変更または増減する場合があります。ベンチマークはありません。

### 2 ファンドはファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。中東・北アフリカ諸国で事業を展開する企業に投資するファンドへの投資を通じて、これらの地域への実質的な投資を行います。

◆ 主としてルクセンブルグ籍の外国投資法人「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」と「SGAM Fund マネー マーケット (USD)」に投資します。アラブ地域の企業への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」を通じて行います。詳しくは本文をご参照ください。

#### MENA (ミーナ) 地域とは

中東および北アフリカ地域を意味する「Middle East and North Africa」の略称で、湾岸協力会議(GCC)6カ国を中心に形成される経済圏です。

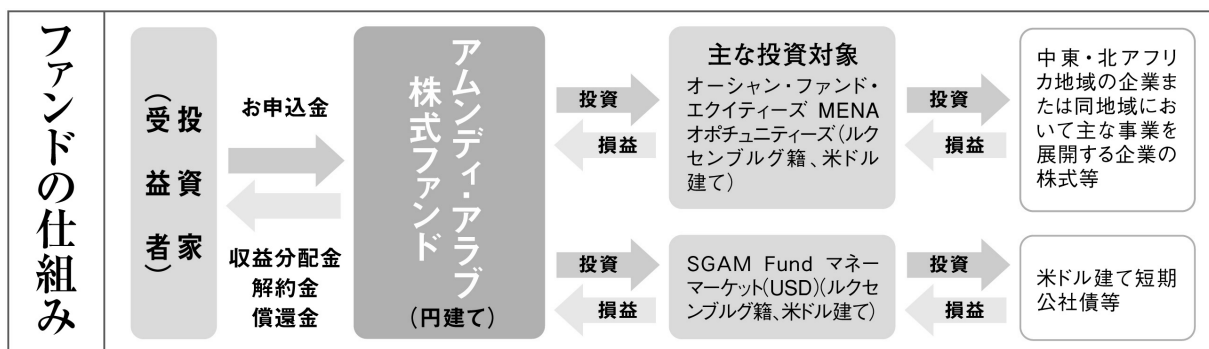
「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」の運用は、アラブ地域への投資に精通し豊富な運用実績を有する GLG パートナーズ インターナショナル リミテッド (GLG Partners International Limited)が行います。また、「SGAM Fund マネー マーケット(USD)」の運用は SG ジェスチョンが行います。

### 3 年2回決算を行い、収益の分配を目指します。

- ◆ 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準や、市況動向を勘案して決定します。また、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
- ◆ 決算は年2回：4月、10月の原則15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い分配方針に基づいて分配を行います。ただし、運用状況によっては分配金が支払われない場合があります。

### 4 原則として、為替ヘッジは行いません。

### 5 投資対象となるサブファンドは追加・変更することがあります。





## ファンドのリスク

ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業が発行する外貨建資産である外国株式など実質的に値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ファンドは、金融機関の預金<sup>※</sup>と異なり投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。すなわち、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。このように、投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

※ 預金保険で保護される預金は、保護対象預金のみでかつ定額保護となります。

ファンドは分散投資などによりリスクの分散、抑制に努めています。しかし、ファンドの基準価額を変動させる大きな要因となるリスクには主に次のようなものがありますので、十分にご理解いただきご投資くださいようお願い申し上げます。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。なお、これらは全てのリスクを網羅したものではなく、記載以外のリスクも存在します。

### 1. 価格変動リスク

株式は、国内および国際的な政治・経済情勢等の影響を受け、価格が下落するリスクがあります。一般に、株式市場が下落した場合には、その影響を受けファンドの基準価額が下がる要因となります。また、株価指数先物取引等については、買建てを行いその先物指数等が下落した場合や、売建てを行いその先物指数等が上昇した場合、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

### 2. 信用リスク

株式の発行会社が倒産した場合または発行会社の倒産が予想される場合もしくは財務状況の悪化等により社債等の利息または償還金の支払いの遅延または履行されないことが生じた場合または予想される場合には、株価が下落することがあります（ゼロになる場合もあります）。これらの影響を受け、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

### 3. 流動性リスク

短期間での大量の解約があった場合または大口の解約を受けた場合、解約資金の手当てのために株式を市場で売却した結果、市場に大きなインパクトを与えることがあります。その際、市況動向や流動性の状況によっては、基準価額が下落することがあります。市場規模や取引量が比較的小さな市場に投資する場合、市場実勢から期待される価格で売買できないことがあります。また、投資対象の市場環境の悪化により流動性の低い銘柄の価格が著しく低下することがあります。こうした影響を受け、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

**4. カントリーリスク**

海外市場に投資する場合、当該市場が存在する国の社会情勢または国際情勢の変化により、金融商品市場または証券市場が不安定になったり、混乱したりすることがあります。規制や混乱により期待される価格で売買できないといった場合には、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。一般に、ファンドの主要投資先である中東・北アフリカなどのエマージング市場は、先進諸国の市場と比べた場合、取引市場独自の規制があることや取引量が小さいことから流動性が低くなる傾向があります。このため、価格変動が大きく、市場実勢から期待される価格で売買できない場合があります。また、決済制度が未発達なために決済の遅延・不能などが生じて的確な投資を行えない可能性、あるいは企業内容の開示・会計制度が未発達なために開示内容の質と量にばらつきが生じる可能性があります。さらに中東・北アフリカ地域については、地政学的な問題も抱えていることから、政治的・経済的な急変時においては流動性が極端に減少し、より一層価格変動が大きくなることも想定されます。

**5. 為替変動リスク**

外貨建資産を保有する場合、為替レートの変動により当該外貨建資産の円換算価格が変動します。当該外貨建資産の表示通貨での資産価格が変わらなくても、投資している国・地域の通貨に対して円高の場合、当該資産の円換算価格が下落するため、ファンドの基準価額の下落要因となります。ファンドは為替変動リスクを回避するための為替ヘッジを原則として行いません。そのため外貨建資産は為替レートの変動の影響を直接受けます。したがって、購入金額を下回り、損失を生じることがあります。

**6. その他の留意事項**

取得または解約の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止（解約の場合は外国投資証券の払戻しにおける制限事項等の影響を受ける場合を含みます。）、投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）などの諸事情により、金融商品市場または外国為替市場が閉鎖され、一時的に取得または解約等ができない場合等は、委託会社の判断により、ファンドの取得または解約の申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得または解約の申込みの受け付けを取り消すことがあります。

このほか、ファンドが主に実質的に投資する中東・北アフリカ諸国では、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間に金融商品市場が数日間休場となる可能性があります。投資対象各国の金融商品市場の休場日が集中した場合にも、委託会社の判断により、ファンドの取得・解約のお申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得・解約のお申込みの受け付けを取り消すことがあります。（詳しくは「第二部 ファンド情報 6 手続等の概要」をご参照ください。）

取得または解約の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の取得または解約の申込みを撤回できます。

## ご投資の流れ

	時期	価格決定日	お受取可能日
取得のお申込み	毎営業日 取得申込受付可能※	取得申込受付日の 翌営業日	
決算日 収益分配	毎年4月、10月の 原則15日 (休業日の場合は翌営業日)	毎年4月、10月の 原則15日 (休業日の場合は翌営業日)	決算日から 5営業日目まで にお支払いを開始
ご解約	毎営業日 解約申込受付可能※	解約申込受付日の 翌営業日	解約申込受付日から 6営業日目よりお支払い

※ルクセンブルクの銀行休業日の場合は取得および解約の申込みの受付は行いません。

## ご投資に当たって

取得のお申込みは、販売会社の窓口で承ります。

**お 申 込 日** 取得のお申込みは、原則として販売会社の営業日に取扱います。ただし、ルクセンブルクの銀行休業日の場合は受け付けません。

**お 申 込 時 間** 午後3時までのお申込みを受け付けます。ただし、わが国の金融商品市場の半休日の場合には午前11時までのお申込みを受け付けます。受付時間を過ぎた場合は、翌営業日の受け付けとします。

**お 申 込 手 続 き** 販売会社取引口座をご開設ください。以下の取得申込方法でお申込みいただけます。

**お 申 込 単 位** 収益分配金の受取り方法により、分配金受取りコースと分配金再投資コースの2つの申込コースがございます。取り扱う申込コースおよびその名称は販売会社により異なる場合があります。また各申込コースのお申込単位は、販売会社が定める単位とします。  
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**お 申 込 価 額** 取得のお申込受付日の翌営業日の基準価額でのお買付けになります。  
※ 基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

**お申込手数料率**

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に取得口数を乗じて得た額に、販売会社が独自に定めるお申込手数料率を乗じて得た額とし、取得申込時にご負担いただくものとします。なお、本書作成日現在、この申込手数料率の上限は 3.15%（税抜き 3.00%）となっております。  
※お申込手数料率は、販売会社によって異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**収益分配について**

年 2 回決算、4 月、10 月の原則として 15 日（当該日が休日の場合は翌営業日）に次の通り収益分配を行う方針です。

**収益分配方針**

ファンドに帰属すべき経費控除後の繰越分も含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。また、収益分配金にあてずに投資信託財産に留保した収益については、ファンドの運用の基本方針に基づき運用を行います。

**お受取り方法**

収益分配金のお受取り方法は、以下の通りです。

〈分配金受取りコース〉

収益分配金をお支払いする場合は、原則として決算日から起算して 5 営業日目までに、お申込みの販売会社においてお支払いを開始いたします。

〈分配金再投資コース〉

原則として、収益分配金は税金を差し引いたあと無手数料で自動的に再投資されます。

**ご解約（換金）に当たって****ご解約申込日**

ご解約のお申込み（一部解約の実行の請求）は、原則として販売会社の営業日にお申込みいただけます。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日の場合は受け付けません。

**ご解約申込時間**

午後 3 時までのお申込みを受け付けます。ただし、わが国の金融商品市場の半休日の場合には午前 11 時までのお申込みを受け付けます。受付時間を過ぎた場合は、翌営業日の受付とします。

**ご解約手続き**

取得のお申込みを行った販売会社で受け付けます。  
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**ご解約単位**

販売会社が定める単位とします。  
※詳しくは販売会社にお問い合わせください。

**ご解約時の価額**

ご解約お申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額（基準価額の 0.2%）を差し引いた解約価額でのご解約になります。  
※基準価額は、販売会社または委託会社にお問い合わせください。

**ご解約時の手数料等**

ご解約時の手数料はありません。

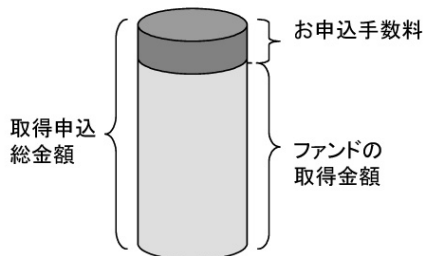
**ご解約金**

ご解約お申込受付日から起算して、原則として 6 営業日よりお支払いいたします。

## 費用および税金

## 取得申込時にお支払いいただく金額

取得申込総金額をお支払いいただきます。取得申込総金額とはファンドの取得金額にお申込手数料を加算した金額をいいます。お申込手数料率は申込コースや販売会社によって異なります。



お申込手数料率が 3.15% の場合にファンドを 100 万円分取得する際の計算例

ファンドの取得金額    お申込手数料    取得申込総金額  
1,000,000 円    +    31,500 円    =    1,031,500 円

## ファンドの取得申込みからご解約（ご換金）いただくまでにかかる税金について

記載内容が以下のとおり更新訂正されます。

（課税については、平成 21 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日までの課税について記載しております。詳細については、「第二部ファンド情報 4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取り扱い」をお読みください。なお当日論見書に記載されている課税上の取扱いはあくまでも概要になり、法律の改正も頻繁にございますので、実際の課税の取り扱いについては税務専門家にご相談下さい。）

時期	項目	税金	納税方法
収益分配時	所得税 および 地方税	個人：普通分配金 <sup>※1</sup> に対し 10% (所得税 7%、地方税 3%)	源泉徴収（原則申告不要） (申告分離課税・総合課税選択可)
		法人：普通分配金に対し 7% (所得税 7%)	源泉徴収
ご解約時・ 償還時	所得税 および 地方税	個人：譲渡所得等 <sup>※2</sup> に対し 10% (所得税 7%、地方税 3%)	申告分離課税
		法人（解約請求時および償還時）： 個別元本超過額に対し 7% (所得税 7%)	源泉徴収

※1 普通分配金のほか、非課税扱いの特別分配金が発生する場合があります。詳細については「第二部ファンド情報 4 手数料等及び税金 (5) 課税上の取り扱い」をご参照ください。

※2 譲渡所得等…上場株式の譲渡益ならびに個人の受益者が支払いを受ける公募株式投資信託の解約時および償還時の差益を通算したものをいいます。

ファンドの収益分配金は、配当控除・益金不算入制度は適用されません。

## ファンドの情報開示について

### 基準価額

- ①基準価額は、委託会社によって毎営業日計算され、販売会社または委託会社にお問い合わせいただくことによって知ることができます。
- ②計算日の翌日の日本経済新聞の朝刊に基準価額が掲載されます。  
(オープン基準価格欄 [アムンディ] にて「アラブ株」の略称で掲載されま  
す。)  
※基準価額は1万口当たりで表示されます。
- ③委託会社のホームページに毎日掲載します。

### レポート等

ファンドに関する情報等の開示を各種レポートにて行う場合があります。これらのレポートは委託会社のホームページで閲覧することができます。

### 運用報告書

委託会社は、毎年4月および10月の決算期末ごとおよびファンドの運用の終了時（償還時）に、期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成し、販売会社より送付します。

### その他

法令の定めるところにより、有価証券報告書の提出が4月および10月の計算期間終了後3カ月以内に行われます。これらの書類は金融庁のEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム、ホームページアドレス <http://info.edinet-fsa.go.jp/>）を通じて閲覧することができます。

## 委託会社へのお問い合わせ先

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 : フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先: ホームページアドレス: [www.amundi.co.jp](http://www.amundi.co.jp)

## アムンディ・アラブ株式ファンド用語集

本投資信託説明書（目論見書）中で使用されている用語についての簡単な解説です。

運用報告書	ファンドの運用状況を受益者に説明する報告書のことです。計算期間終了時および償還時に作成され、販売会社を通じて受益者の手元に届きます。
解約価額	ファンドの解約時の価額で、基準価額から信託財産留保額を差し引いたものです。信託財産留保額がないファンドについては、基準価額と同じになります。
株式投資信託	課税上、株式を少しでも組み入れることが可能なファンドをいいます。債券や短期金融商品も運用対象となるため、主として債券に投資するファンドや実際には株式を組み入れないファンドも分類されます。また、申込期間の違いにより、単位型と追加型に分類されます。
基準価額	ファンドの純資産総額を受益権総口数で割ったものです。設定当初は1口1円でスタートしますが、運用に応じて価額は変動します。なお、1口1円でスタートするものは便宜上1万口当たりの価額で表示されます。
個別元本方式	受益者ごとの信託時の受益権の価額等（申込手数料は含まれません。）が当該受益権の元本（個別元本）に当たります。受益者が同一ファンドを複数回取得した場合、個別元本は追加購入のつど受益権口数で加重平均され算出されます。また、特別分配金を受取った場合は、当該特別分配金を控除した額が、その後の個別元本となります。
収益分配金	ファンドの決算時に収益より支払われる金銭をいいます。当該分配金額を差し引いた（分配落ち）後の基準価額が受益者の個別元本を下回る場合、その下回っている部分は元本の払戻しとみなされ、特別分配金（非課税）となります。同額または個別元本を上回る場合は、全額が普通分配金（課税）となります。なお、分配は行われないこともあります。
純資産総額	ファンドに組み入れられている有価証券等の資産を時価で評価計算し、その合計に未収利息などの資産を加え、未払金などの費用総額を差し引いたもので、ファンドの規模を表します。
償還	ファンドの運用を終了することをいいます。あらかじめ決められた日（信託終了日）に運用を終了する満期償還と、信託終了日より前に運用を終了する繰上償還があります。
信託財産留保額	ファンドの解約の際、資金流出のために発生する有価証券の売却手数料などを、解約する受益者に負担していただき、他の受益者の負担とさせないための費用です。
信託報酬	投資信託財産の中から委託会社・受託会社・販売会社などに支払われる報酬のことです。
追加型投資信託	ファンド設定後も、いつでも購入のお申込みができるファンドのことで、オープン型投資信託ともいいます。
特別分配金	収益分配金のうち、受益者の購入価額を下回る部分の分配は元本の払戻しとみなされ、特別分配金と呼ばれます。この部分については非課税扱いとなります。
ファンド・オブ・ファンズ	株式や債券などに直接投資するのではなく、他の投資信託証券（サブファンド）に投資する投資信託（ファンド）です。複数の投資信託を組み合わせ、ひとつにまとめた投資信託と見ることもできます。投資信託はそれぞれの運用方針に基づいて銘柄分散など分散投資が行われるものですが、複数の投資信託を組み合わせることで、更に運用会社（ファンド・マネージャー）や運用スタイルの分散を図ることができることなどが利点として挙げられます。
ポートフォリオ	ファンドが運用対象として保有する株式や公社債などの資産構成および資産全体を指します。

## 第一部 証券情報

### (1) ファンドの名称

アムンディ・アラブ株式ファンド（以下「ファンド」といいます。）

### (2) 内国投資信託受益証券の形態等

単位型・追加型の別                   : 追加型  
指定格付機関による格付け       : 格付けは取得していません。

アムンディ・ジャパン株式会社を委託会社とし、株式会社りそな銀行を受託会社とする契約型の追加型証券投資信託の内国投資信託受益権（以下、「受益権」といいます。）です。

## アムンディ・グループについて

- クレディ・アグリコル S.A.とソシエテ ジェネラルは2009年12月31日付で Amundi(アムンディ)を設立しました。
- アムンディは、運用資産規模で6,500億ユーロ※1を超え、欧州第3位※2、世界ではトップ・テン※3に入るグローバルプレーヤーの運用会社となります。
- 世界有数の金融グループである、クレディ・アグリコル S.A.とソシエテ ジェネラル両グループの支援をバックに、「プロダクトの質の向上」、「お客様との信頼関係構築」、「組織の効率化」などにおいて優位性を発揮し、欧州における確固たるトップレベルの運用会社になることを目指します。

※1 アムンディによる試算。(2009年9月末)

※2 インベストメント・ペンション・ヨーロッパによるトップ400社調査。(2009年7月版(数値は2008年12月末))

※3 グローバル・インベスターズによる100社ランキング。(2008年9月版(数値は2008年6月))

ファンドの受益権は、「社債、株式等の振替に関する法律」（以下「社振法」といいます。）の規定の適用を受けており、受益権の帰属は、後述の「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情等がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

### (3) 発行（売出）価額の総額

3,000億円を上限とします。

### (4) 発行（売出）価格

#### ① 発行価格

取得申込受付日の翌営業日の基準価額※とします。

※基準価額とは、投資信託財産に属する資産を時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下、「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した受益権



1口当たりの価額をいいます。ただし、便宜上1万口あたりに換算した価額で表示されることがあります。基準価額は、組入有価証券等の値動き等の影響により日々変動します。

## ② 基準価額の入手方法

ファンドの基準価額については、委託会社が指定する販売会社または委託会社（後述の「(12) その他 ⑤ その他」をご参照ください。）にお問い合わせください。

また基準価額は原則として、計算日の翌日の日本経済新聞に掲載されます（朝刊のオープン基準価格欄「アムンディ」にて「アラブ株」の略称で掲載されます。）。なお、基準価額は1万口当たりで表示されます。

## (5) 申込手数料

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の1口当たりの基準価額に、取得口数を乗じて得た額に、販売会社が独自に定める申込手数料率を乗じて得た額とし、取得申込時にご負担いただくものとします。なお、本書作成日現在、この申込手数料率の上限は3.15%（税抜き3.00%）となっております。詳しくは販売会社（販売会社については、「(12) その他 ⑤ その他」のお問い合わせ先にご照会ください。）にお問い合わせください。

※ 「分配金再投資コース」で収益分配金を再投資する場合には、申込手数料はありません。

## (6) 申込単位

販売会社が定める申込単位とします。なお、販売会社によって取り扱う申込コースおよび申込単位が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## (7) 申込期間

申込期間：平成22年 1月16日から平成23年 1月14日まで※

※ 申込（継続募集）期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

## (8) 申込取扱場所

ファンドの取得申込みは、販売会社で取り扱います。なお、取扱店等、ご不明な点については販売会社にお問い合わせください。

## (9) 払込期日

ファンドの取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、販売会社に対しファンドの取得申込みを行います。ファンドの取得申込者は、販売会社が定める期日（詳しくは販売会社にお問い合わせください。）までに、取得申込総金額※を当該販売会社において支払うものとします。ファンドの振替受益権にかかる各取得申込日の発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、販売会社より、委託会社の指定する口座を経由して受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

※取得申込総金額とは、発行価格に取得申込口数を乗じた額に、申込手数料を加えた金額をいいます。

## (10) 払込取扱場所

払込みは、お申込みの販売会社で取り扱います。なお、取扱店等、ご不明な点については販

売会社にお問い合わせください。

#### (11) 振替機関に関する事項

ファンドの振替受益権の振替機関は下記の通りです。

株式会社 証券保管振替機構

#### (12) その他

##### ① 取得申込みの方法

ファンドの取得申込者は、販売会社取引口座を開設のうえ、販売会社に対しファンドの取得申込みを行います。

ファンドの取得申込みには、収益分配金の受取方法により「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」\*があります。「分配金再投資コース」を選択する場合は、販売会社との間で別に定める契約を締結していただきます。なお、コースおよび契約の名称は、販売会社により異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

\* 「分配金再投資コース」とは、収益分配金を税引き後無手数料で自動的に再投資するコースのことをいいます。

また、販売会社により「定時定額購入コース（販売会社により名称が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。）」等を取り扱う場合があります。ご利用に当たっては、販売会社で分配金再投資コースをお申込みのうえ、「定時定額購入コース」等に関する取り決めを行う必要があります。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

取得申込みの受付は、販売会社の毎営業日の午後3時までとします。ただし、所定の時間までに取得申込みが行われ、かつ、それにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とさせていただきます。これを過ぎてからの取得のお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。また、申込（継続募集）期間において、取得申込日がルクセンブルグの銀行休業日の場合には、取得申込みの受付を行いません。

##### ② 取得申込受けの中止

委託会社は、取得申込者の取得申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社の判断によりファンドの取得申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた取得申込みの受け付けを取り消すことができます。

このほか、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間において、取得申込みの受け付けを行わないことがあります。

詳しくは「**第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 6 手続等の概要<ラマダン・犠牲祭等による休日に該当する場合の取扱い>**」をご参照ください。

##### ③ 日本以外の地域における発行

該当事項はありません。

##### ④ 振替受益権について

ファンドの受益権は、投資信託振替制度（以下「振替制度」といいます。）の振替受益権で

あり、社振法の規定の適用を受け、上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の振替業にかかる業務規程等の規則にしたがって取り扱われるものとします。

ファンドの収益分配金、償還金、換金代金は、社振法および上記「(11) 振替機関に関する事項」に記載の振替機関の業務規程その他の規則にしたがって支払われます。

(参考)

◆投資信託振替制度とは、

- ・ファンドの受益権の発生、消滅、移転をコンピュータシステムにて管理します。
- ・ファンドの設定、解約、償還等がコンピュータシステム上の帳簿（「振替口座簿」といいます。）への記載・記録によって行われますので、受益証券は発行されません。

⑤ その他

委託会社へのお問い合わせ先

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 :フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先:ホームページアドレス:[www. amundi. co. jp](http://www.amundi.co.jp)

## 第二部 ファンド情報

### 第1 ファンドの状況

#### 1 ファンドの性格

##### (1) ファンドの目的及び基本的性格

###### ① ファンドの目的

この投資信託は、投資信託証券への投資を通じて中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。詳しくは後述の「(2) ファンドの仕組み」をご参照ください。

###### ② ファンドの基本的性格

ファンドは追加型投信／海外／株式に属します。

商品分類については社団法人 投資信託協会「商品分類に関する指針」に基づき分類し、ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。ファンドの仕組みについては後述の「(2) ファンドの仕組み」をご参照ください。

商品分類表

単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)	独立区分	補足分類
単位型投信	国内	<b>株式</b>	MMF	インデックス型
	<b>海外</b>	債券		
<b>追加型投信</b>	内外	不動産投信	MR F	特殊型
		その他資産 ( )	E T F	
		資産複合		

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

なお、ファンドが該当する各分類（表の網掛け部分）の定義は以下のとおりとなっております。

追加型投信	一度設定されたファンドであっても、その後追加設定が行われ従来の投資信託財産とともに運用されるファンドをいいます。
海外	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に海外の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
株式	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

### 属性区分表

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ	対象インデックス	特殊型
株式 一般 大型株 中小型株	年1回	グローバル (日本を含む)				
	<b>年2回</b>	日本			日経225	ブル・ベア型
債券 一般 公債 社債 その他債券 クレジット属性 ( )	年4回	北米	ファミリー ファンド	あり ( )		条件付運用型
	年6回 (隔月)	欧州			TOPIX	
		アジア				ロング・ショート型 /絶対 収益追求型
不動産投信	年12回 (毎月)	オセアニア				
		中南米	<b>ファンド・オブ・ファンズ</b>	<b>なし</b>		
<b>その他資産 (投資信託証券(株式))</b>		アフリカ			その他	その他
資産複合 ( )	日々	中近東(中東) エマージング			( )	( )
資産配分固定型 資産配分変更型	その他 ( )	<b>中東/アフリカ</b>				

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

なお、ファンドが該当する各分類(表の網掛け部分)の定義は以下のとおりとなっています。

その他資産(投資信託証券(株式))	目論見書または投資信託約款において、組入資産による主たる投資収益が実質的に株式に投資することを目的とする投資信託を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
年2回	目論見書または投資信託約款において、年2回決算する旨の記載があるものをいいます。
中東/アフリカ	目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が中東およびアフリカ地域の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。
ファンド・オブ・ファンズ	「投資信託等の運用に関する規則」第2条に規定するファンド・オブ・ファンズをいいます。
為替ヘッジなし	目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行う旨の記載がないものをいいます。

※商品分類表および属性区分表に記載された当該ファンドにかかる定義(上記網掛け部分)以外の定義については、社団法人 投資信託協会のホームページ (<http://www.toushin.or.jp/>) をご参照ください。

### ③ 信託金の限度額

信託金の限度額は3,000億円です。

ただし、委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

### ④ ファンドの特色

1. 主としてアラブ地域を中心とした中東・北アフリカ諸国で事業を展開する企業<sup>\*</sup>に実質的に投資します。

※ サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、クウェート、オマーン、カタール、バーレーン、エジプト、モロッコ、チュニジア、レバノン、ヨルダン等の企業または同地域において主な事業を展開する企業の株式等（これに準じるワラントや債券等を含みます）を実質的な投資対象とします。実質的な投資対象国はこれらに限定するものではなく変更または増減する場合があります。ベンチマークはありません。

2. ファンドはファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。中東・北アフリカ諸国で事業を展開する企業に投資するファンドへの投資を通じて、これらの地域への実質的な分散投資を行います。

- 主としてルクセンブルグ籍の外国投資法人「オーシャン・ファンド・エクイティーズMENA オポチュニティーズ」と「SGAM Fund マネー マーケット (USD)」に投資します。アラブ地域の企業への実質的な投資は「オーシャン・ファンド・エクイティーズMENA オポチュニティーズ」を通じて行います。詳しくは後記「(2) ファンドの仕組み および 2投資方針(1)投資方針 ②投資態度」をご参照ください。

## MENA (ミーナ) 地域とは

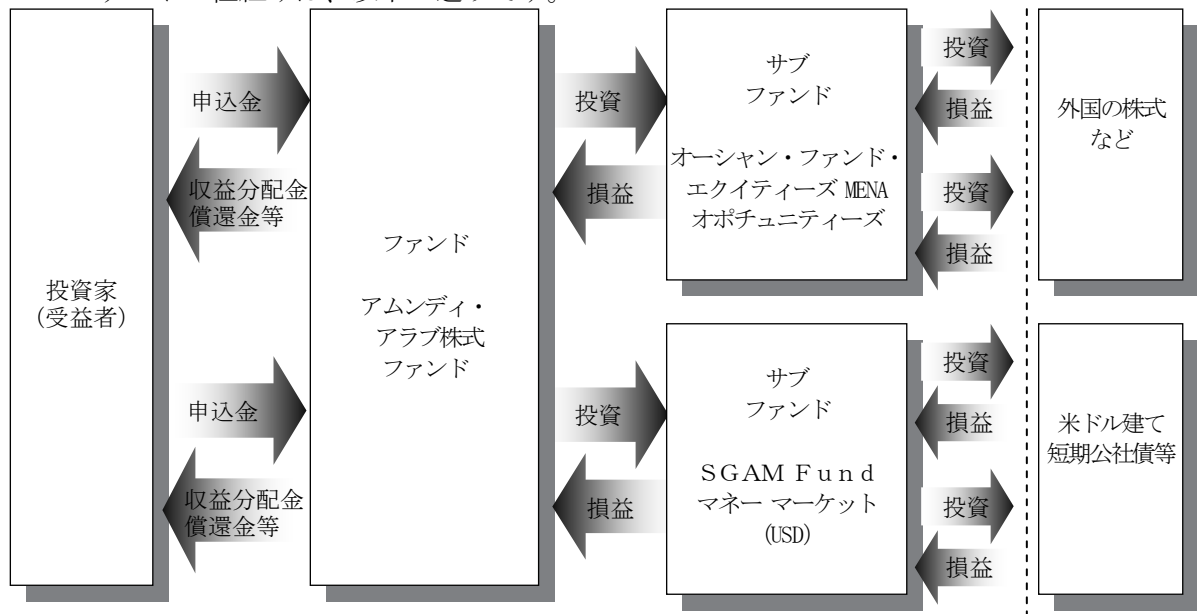
中東および北アフリカ地域を意味する「Middle East and North Africa」の略称で、湾岸協力会議（GCC）6カ国を中心に形成される経済圏です。

「オーシャン・ファンド・エクイティーズMENA オポチュニティーズ」の運用は、アラブ地域への投資に精通し豊富な運用実績を有するGLG パートナーズ インターナショナル リミテッド（GLG Partners International Limited）が行います。また、「SGAM Fund マネー マーケット (USD)」の運用はソシエテジェネラルジェスチョン（以下、S2Gという場合があります。）が行います。

3. 年2回決算を行い、収益の分配を目指します。
  - 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準や、市況動向を勘案して決定します。また、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
  - 決算は年2回。4月、10月の原則として各15日、休日の場合は翌営業日に決算を行い、分配方針に基づいて分配を行います。
4. 原則として、為替ヘッジは行いません。
5. 投資対象となるサブファンドは追加・変更することがあります。

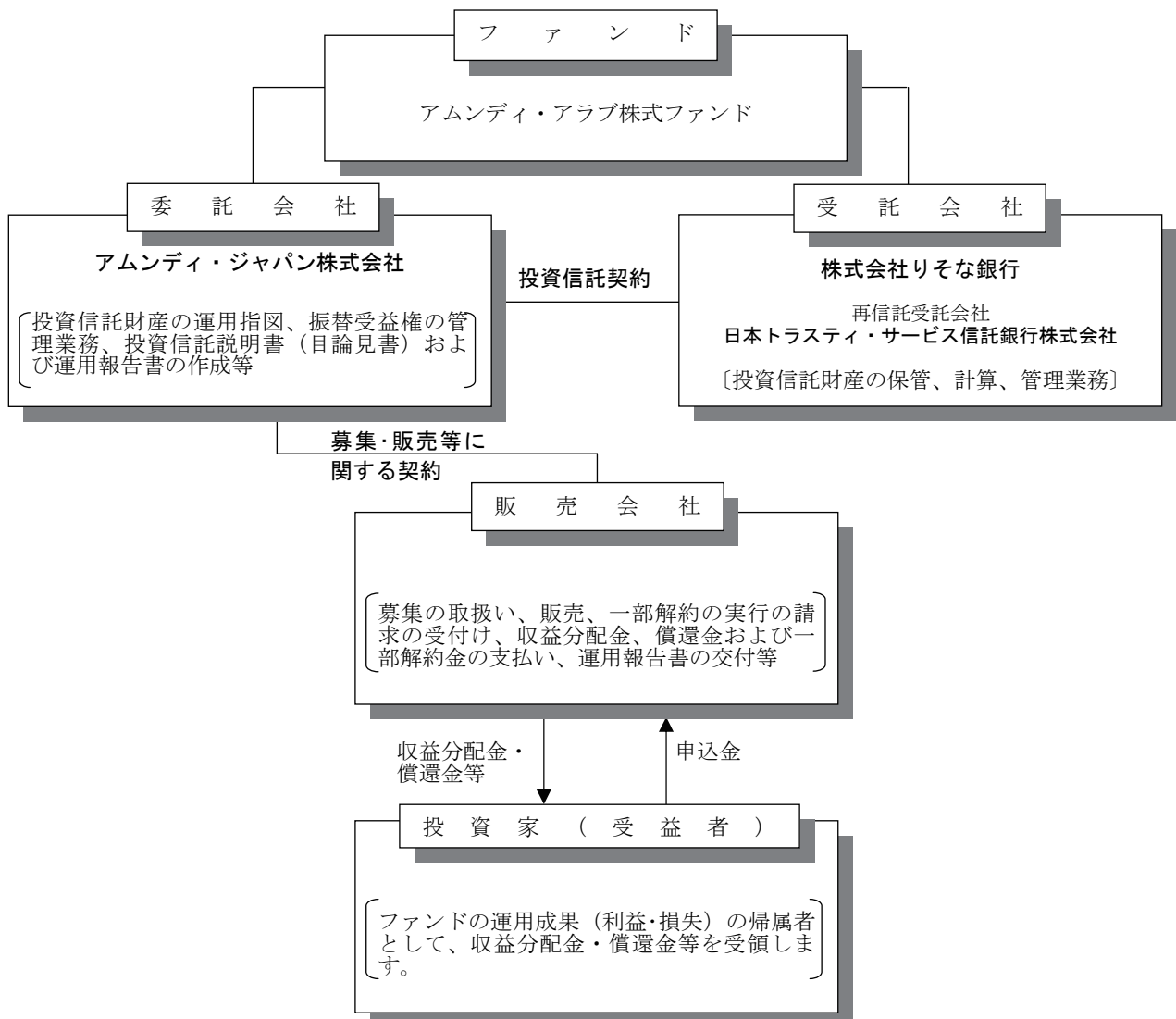
## (2) ファンドの仕組み

ファンドの仕組みは、以下の通りです。



ファンドの関係法人および関係業務は、以下の通りです。

### ファンドの関係法人



《各契約の概要》

各契約の種類	契約の概要
募集・販売等に関する契約	委託会社と販売会社の間で締結する、募集の取扱い、販売、一部解約の実行の請求の受け、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等に関する契約
投資信託契約 (証券投資信託にかかる投資信託契約 (投資信託約款))	委託会社と受託会社の間で締結する、当該証券投資信託の設定から償還にいたるまでの運営にかかる取り決め事項に関する契約

委託会社の概況

名称等	アムンディ・ジャパン株式会社 (金融商品取引業者 登録番号 関東財務局長 (金商) 第350号)			
資本の額	12億円			
会社の沿革	昭和46年11月22日 山一投資コンサルティング株式会社設立 昭和55年 1月 4日 山一投資コンサルティング株式会社から山一投資顧問株式会社へ社名変更 平成10年 1月28日 ソシエテ ジェネラル投資顧問株式会社 (現アムンディ・ジャパンホールディング株式会社) が主要株主となる 平成10年 4月 1日 山一投資顧問株式会社からエスジー山一アセットマネジメント株式会社へ社名変更 平成10年11月30日 証券投資信託委託会社の免許取得 平成16年 8月 1日 りそなアセットマネジメント株式会社と合併し、ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社へ社名変更 平成19年 9月30日 金融商品取引法の施行に伴い同法の規定に基づく金融商品取引業者の登録を行う 平成22年 7月 1日 クレディ・アグリコル アセットマネジメント株式会社と合併し、アムンディ・ジャパン株式会社へ社名変更			
大株主の状況	名称	住所	所有株式数	比率
	アムンディ・ジャパンホールディング株式会社	東京都千代田区内幸町一丁目2番2号	2,400,000株	100%

(本書作成日現在)

アムンディ・グループについて

- クレディ・アグリコル S.A.とソシエテ ジェネラルは2009年12月31日付で Amundi (アムンディ) を設立しました。
- アムンディは、運用資産規模で6,500億ユーロ※1を超え、欧州第3位※2、世界ではトップ・テン※3に入るグローバルプレーヤーの運用会社となります。
- 世界有数の金融グループである、クレディ・アグリコル S.A.とソシエテ ジェネラル両グループの支援をバックに、「プロダクトの質の向上」、「お客様との信頼関係構築」、「組織の効率化」などにおいて優位性を発揮し、欧州における確固たるトップレベルの運用会社になることを目指します。

※1 アムンディによる試算。(2009年9月末)

※2 インベストメント・ペンション・ヨーロッパによるトップ400社調査。(2009年7月版 (数値は2008年12月末))

※3 グローバル・インベスターズによる100社ランキング。(2008年9月版 (数値は2008年6月))



## 2 投資方針

### (1) 投資方針

#### ① 運用方針

この投資信託は、中長期的な投資信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。

#### ② 投資態度

(イ) 主としてルクセンブルグ籍の米ドル建ての外国投資法人である「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ (Ocean Fund Equities MENA Opportunities)」および「SGAM Fund マネー マーケット (USD) (SGAM Fund Money Market (USD))」(以下両ファンドを総称してまたは個別に「サブファンド」という場合があります。)の投資証券(以下「投資信託証券」といいます。)を投資対象とします。

(ロ) この投資信託の運用はファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、実質的な投資は、サブファンドの投資信託証券への投資を通じて行います。

(ハ) 投資対象のサブファンドにおいては、中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業(中東・北アフリカ諸国の企業を含みます。)の株式等へ投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

(ニ) 外国投資証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。

(ホ) 原則として実質的に組み入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。

ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、暫定的に上記と異なる運用を行う場合があります。

### (2) 投資対象

#### ① 投資の対象とする資産の種類

この信託において投資の対象とする資産は、次に掲げるものとします。

(イ) 次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)

(a) 有価証券

(b) デリバティブ取引にかかる権利(金融商品取引法第2条第20項に掲げるものをいい、有価証券先物取引に限ります。)

(c) 金銭債権

(d) 約束手形

(ロ) 次に掲げる特定資産以外の資産

(a) 為替手形

#### ② 投資対象とする有価証券

ファンドは、主としてサブファンドの投資信託証券に投資するほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することができます。

(a) コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

- (b) 外国または外国法人の発行する証券または証書で、前各号の証券または証書の性質を有するもの
- (c) 国債証券、地方債証券、特別の法律により設立された法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）
- (d) 投資信託および外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
- (e) 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
- (f) 外国の者が発行する譲渡性預金証書

### ③ 投資対象とする金融商品

委託会社は、信託金を、前記②に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することを指図することができます。

- (a) 預金
- (b) コール・ローン
- (c) 手形割引市場において売買される手形
- (d) 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

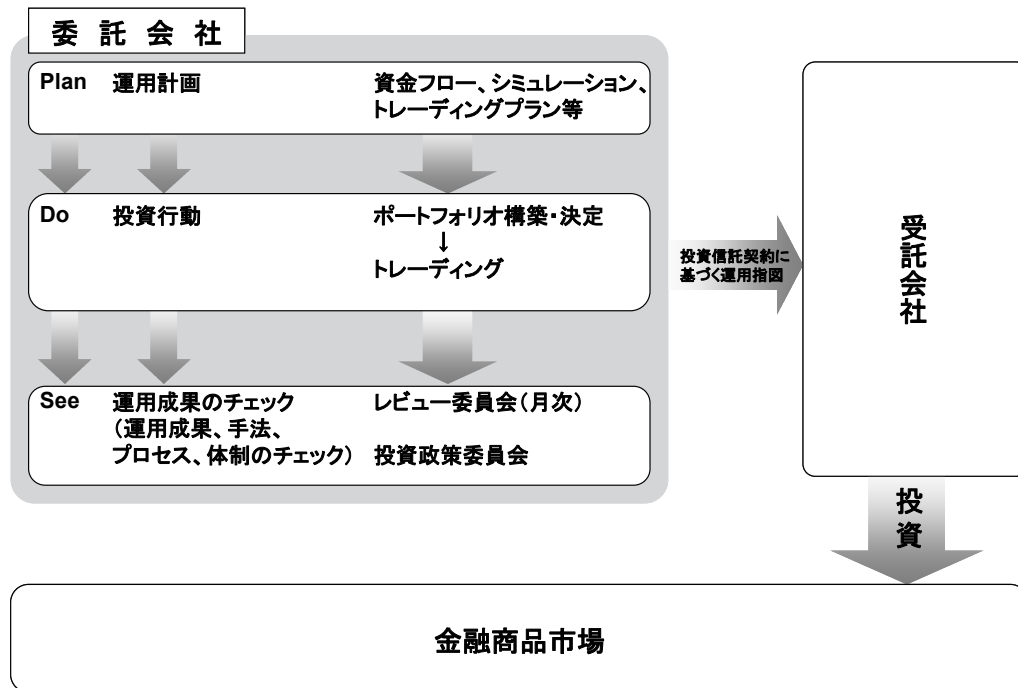
前記②にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を(a)から(d)までに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

### ④ その他

- (a) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含まれるものとします。
- (b) わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことができます。
- (c) わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことができます。
- (d) 一部解約金の支払資金に不足額が生じたときは、資金借入れをすることができます。

### (3) 運用体制

委託会社の運用体制は、運用本部所属のファンド・マネージャーがファンドの運用指図を行う体制となっています。ファンド・マネージャーは投資対象であるサブファンドの買付、および組入れを高位に保つことを指図します。



ファンドの運用組織は以下のとおりとなっております。

運用計画・・・・・・・・・・運用本部各運用部（4名程度）

投資行動・・・・・・・・・・運用本部所属ファンド・マネージャー（4名程度）

運用成果のチェック・・レビュー委員会（7名以上）、投資政策委員会（3名以上）

ファンドの運用を行うに当たっての社内規定

- ・証券投資信託の運用に関する規則
- ・証券先物取引に関する社内基準
- ・服務規程（ファンド・マネージャー用）
- ・各種業務マニュアル
- ・リスク管理基本規程
- ・コンプライアンス・マニュアル

関係法人に関する管理体制

受託会社・・・・年1回以上、ミーティングまたは内部統制報告書に基づくレビューを実施

※上記は本書作成日現在の運用体制です。運用体制は変更されることがあります。

### (4) 分配方針

#### ① 収益分配方針

毎決算時（年2回。4月、10月の原則15日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として次のとおり収益分配を行う方針です。

#### (a) 分配対象額

配当等収益<sup>※1</sup>および売買益<sup>※2</sup>等の合計額から経費<sup>※3</sup>を控除した額に、前期から繰

り越された分配準備積立金がある場合は当該分配準備積立金を加算した額とします。

※1 配当金、利子、貸付有価証券にかかる品貸料およびこれらに類する収益から支払利息を控除した額をいいます。

※2 売買損益に評価損益を加減して得た利益金額をいいます。

※3 信託事務の処理等に要する諸費用（当該諸費用にかかる消費税に相当する金額を含みます。）、受託会社の立て替えた立替金の利息ならびに投資信託財産の財務諸表の監査報酬および当該監査報酬にかかる消費税等に相当する金額（以下「諸経費」といいます。）、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額等をいいます。

(b) 分配対象額についての分配方針

収益分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向および運用状況等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(c) 収益分配にあてず、投資信託財産に留保した利益（留保益）の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

(d) 留保益の処理

分配対象額は、次期以降の収益分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てること、および繰越欠損金のあるときはその全額を補てんすることができます。

② 収益分配金の交付

「分配金受取りコース」をお申込みの場合、収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる決算日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始します。支払いは、委託会社の指定する販売会社において行うものとします。なお、「分配金受取りコース」の受益者が、支払い開始日から5年間支払いの請求を行わない場合はその権利を失い、委託会社が受託会社から交付を受けた金銭は委託会社に帰属します。

「分配金再投資コース」の受益者の場合は、収益分配金は税引き後無手数料で再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。なお、収益分配金の再投資は、毎計算期間終了日の基準価額にて、その翌営業日に収益分配金の手取額をもって、ファンドの買付けを自動的に行います。

(5) 投資制限

① 投資信託約款に基づく投資制限

(イ) 株式への直接投資は行いません。

(ロ) 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。

(ハ) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

(ニ) 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合は、原則として投資信託財産の純資産総額

の50%以下とします。ただし、投資信託約款または投資法人規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されること（投資信託委託会社または販売会社による自己設定が行われる場合を含みます。）が定められている投資信託証券については、投資信託財産の純資産総額に対する同一銘柄の時価総額の制限を設けません。

- (ホ) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします。有価証券等の価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。有価証券等の価格変動リスクを回避するため、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

## ② 法令等に基づく主な投資制限

投資信託及び投資法人に関する法律、金融商品取引法等により、次に掲げる取引は制限されます。

### (イ) 同一法人の発行する株式の投資制限

投資信託委託会社は、同一法人の発行する株式を、その運用の指図を行うすべての委託者指図型投資信託につき、投資信託財産として有する当該株式にかかる議決権（株主総会において議決をすることができる事項の全部につき議決権を行使することができない株式についての議決権を除き、会社法第879条第3項の規定により議決権を有するとみなされる株式についての議決権を含みます。）の総数が、当該株式にかかる議決権の総数の50%を超えることとなるときは、投資信託財産をもって当該株式を取得することはできません。

### (ロ) デリバティブ取引にかかる投資制限

投資信託委託会社は、投資信託財産に関し、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動その他の理由により発生し得る危険に対応する額としてあらかじめ投資信託委託会社が定めた合理的な方法により算出した額が当該投資信託財産の純資産額を超えることとなる場合において、デリバティブ取引（新株予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）を行い、または継続することを内容とした運用を行うことはできません。

## 参考情報

### ファンドが投資する投資信託証券の概要

ファンド名	オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ (Ocean Fund Equities MENA Opportunities)
形態	ルクセンブルグ籍投資法人「Ocean Fund」をアンブレラファンドとするサブファンド、Ocean Fund Equities MENA Opportunitiesの外国投資証券Jシェア(米ドル建)
主な投資対象	主として中東・北アフリカ諸国の企業または同地域において主な事業を展開する企業に投資します。
運用の基本方針	主として中東・北アフリカ諸国(MENA: サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、クウェート、オマーン、カタール、バーレーン、エジプト、モロッコ、チュニジア、レバノン、ヨルダン等)の企業等に投資し、運用資産の中長期的な成長を目指して運用します。
ベンチマーク	なし
設立日	2007年6月25日
決算日	年1回、原則9月30日に決算を行います。
分配方針	運用資産から生じる利益は、ファンドの解散時まで運用資産中に留保し、分配を行いません。
買戻しの制限	買戻し請求の合計が当該請求日における投資口の総口数の10%を超える場合、アンブレラファンドの取締役会の裁量で買戻し請求の合計が投資口総口数の10%未満になるように、全ての投資主を対象に買戻し請求額を減額することができます。
運用報酬	年率1.0%以内
成功報酬	基準価額(成功報酬控除前)が、期首の基準価額から年率10%を超えて値上がりした場合、超過分の値上がり益に対して15%の成功報酬がかかります。(ハイウォーターマーク方式を適用)成功報酬は、日々計上され(値下がり場合は戻し入れされます)、計算期間終了後にファンドから控除されます。
その他の費用	ルクセンブルグの年次税(年率0.01%)の他、管理、受託、監査費用、有価証券売買委託手数料等がかかります。
買付手数料	ありません。
運用会社	GLG パートナーズ インターナショナル リミテッド (GLG Partners International Limited)
保管会社	ソシエテ ジェネラル バンク&トラスト (Societe Generale Bank & Trust)
管理会社	SGAM ルクセンブルグ (SGAM Luxembourg S.A.)
監査法人	プライスウォーターハウスクーパース (PriceWaterhouseCoopers S.a.r.l.)

※アンブレラファンドとは、複数のファンドが群として構成され一体となったものをいいます。

ファンド名	SGAM Fund マネー マーケット(USD) (SGAM Fund Money Market (USD))
形態	ルクセンブルグ籍投資法人SGAM FundをアンブレラファンドとするサブファンドSGAM Fund Money Market (USD)の外国投資証券Jシェア(米ドル建)
主な投資対象	主として米ドル建て短期公社債を主要投資対象とします。
運用の基本方針	主として米国の短期公社債に投資し、運用資産の着実な成長と安定した収益の確保をはかることを目標として運用を行います。
設立日	1996年6月18日
決算日	年1回、原則5月31日に決算を行います。
分配方針	運用資産から生じる利益は、ファンドの解散時まで運用資産中に留保し、分配を行いません。
買戻しの制限	買戻し請求の合計が当該請求日における投資口総口数の10%を超える場合、アンブレラファンドの取締役会の裁量で買戻し請求の合計が投資口総口数の10%未満になるように、全ての投資主を対象に買戻し請求額を減額することができます。
運用報酬	年率0.15%以内
その他の費用	ルクセンブルグの年次税(年率0.01%)の他、管理、受託、監査費用、有価証券売買委託手数料等がかかります。
買付手数料	ありません。
運用会社	ソシエテジェネラルジェスチョン (Societe Generale Gestion)
保管会社	ソシエテ ジェネラル バンク&トラスト (Societe Generale Bank & Trust)
管理会社	SGAM ルクセンブルグ (SGAM Luxembourg S.A.)
監査法人	プライスウオーターハウスクーパーズ (PriceWaterhouseCoopers S.a.r.l.)

(注)各サブファンドの表示内容は本書作成日現在の情報です。今後変更になることがあります。

(注)「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」の運用において、投資対象国での規制等により株式による投資が困難な場合、特定の企業の株式を取得する代わりに、一部スワップ等の手法を使う場合があります。

### 3 投資リスク

#### (1) ファンドのリスク

ファンドは、投資対象ファンドへの投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業が発行する外貨建資産である外国株式など値動きのある有価証券に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ファンドは、金融機関の預金※と異なり投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。すなわち、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。このように、投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

※預金保険で保護される預金は、保護対象預金のみでかつ定額保護となります。

ファンドは分散投資などによりリスクの分散、抑制に努めています。しかし、ファンドの基準価額を変動させる大きな要因となるリスクには主に次のようなものがありますので、十分にご理解いただきご投資くださいますようお願い申し上げます。

なお、これらはすべてのリスクを網羅したものではなく、記載以外のリスクも存在します。

##### ① 価格変動リスク

株式は、国内および国際的な政治・経済情勢等の影響を受け、価格が下落するリスクがあります。一般に、株式市場が下落した場合には、その影響を受けファンドの基準価額が下がる要因となります。また、株価指数先物取引等については、買建てを行いその先物指数等が下落した場合や、売建てを行いその先物指数等が上昇した場合、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

##### ② 信用リスク

株式の発行会社が倒産した場合または発行会社の倒産が予想される場合もしくは財務状況の悪化等により社債等の利息または償還金の支払いが遅延または履行されないことが生じた場合または予想される場合には、株価が下落することがあります（ゼロになる場合もあります。）。これらの影響を受け、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

##### ③ 流動性リスク

短期間で大量の解約があった場合または大口の解約を受けた場合、解約資金の手当のために株式を市場で売却した結果、市場に大きなインパクトを与えることがあります。その際、市況動向や流動性の状況によっては、基準価額が下落することがあります。市場規模や取引量が比較的小さな市場に投資する場合、市場実勢から期待される価格で売買できないことがあります。また、投資対象の市場環境の悪化により流動性の低い銘柄の価格が著しく低下することがあります。こうした影響を受け、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

##### ④ カントリーリスク

海外市場に投資する場合、当該市場が存在する国の社会情勢または国際情勢の変化により、金融商品市場または証券市場が不安定になったり、混乱したりすることがあります。規制や混乱により期待される価格で売買できないといった場合には、ファンドの基準価額が下がる要因となります。したがって、購入金額を下回り、損失を被ることがあります。

一般に、ファンドの主要投資先である中東・北アフリカなどのエマージング市場は、先



進諸国の市場と比べた場合、取引市場独自の規制があることや取引量が小さいことから流動性が低くなる傾向があります。このため、価格変動が大きく、市場実勢から期待される価格で売買できない場合があります。また、決済制度が未発達なために決済の遅延・不能などが生じて的確な投資を行えない可能性、あるいは企業内容の開示・会計制度が未発達なために開示内容の質と量にばらつきが生じる可能性があります。さらに中東・北アフリカ地域については、地政学的な問題も抱えていることから、政治的・経済的な急変時においては流動性が極端に減少し、より一層価格変動が大きくなることも想定されます。

⑤ 為替変動リスク

外貨建資産を保有する場合、為替レートの変動により当該外貨建資産の円換算価格が変動します。当該外貨建資産の表示通貨での資産価格が変わらなくても、投資している国・地域の通貨に対して円高の場合、当該資産の円換算価格が下落するため、ファンドの基準価額の下落要因となります。ファンドは、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジを原則として行いません。そのため外貨建資産は為替レートの変動の影響を直接受けます。したがって、購入金額を下回り、損失を生じることがあります。

⑥ その他の留意事項

取得または解約の申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止（解約の場合は外国投資証券の払戻しにおける制限事項等の影響を受ける場合を含みます。）、投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）などの諸事情により、金融商品市場または外国為替市場が閉鎖され、一時的に取得または解約等ができない場合等は、委託会社の判断により、ファンドの取得または解約の申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得または解約の申込みの受け付けを取り消すことがあります。

このほか、ファンドが主に実質的に投資する中東・北アフリカ諸国では、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間に金融商品市場が数日間休場となる可能性があります。投資対象各国の金融商品市場の休場日が集中した場合にも、委託会社の判断により、ファンドの取得・解約のお申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得・解約のお申込みの受け付けを取り消すことがあります。（詳しくは「**第二部 ファンド情報 6 手続等の概要**」をご参照ください。）

取得または解約の申込みの受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の取得または解約の申込みを撤回できます。

投資信託と預貯金者・投資家等保護制度との関係について

投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資家保護基金の保護の対象ではありません。

## (2) その他の留意点

### ファンドの繰上償還

ファンドは、投資信託財産の純資産総額が 10 億円を下回った場合等には、信託を終了させることがあります。

## (3) 委託会社のリスク管理について

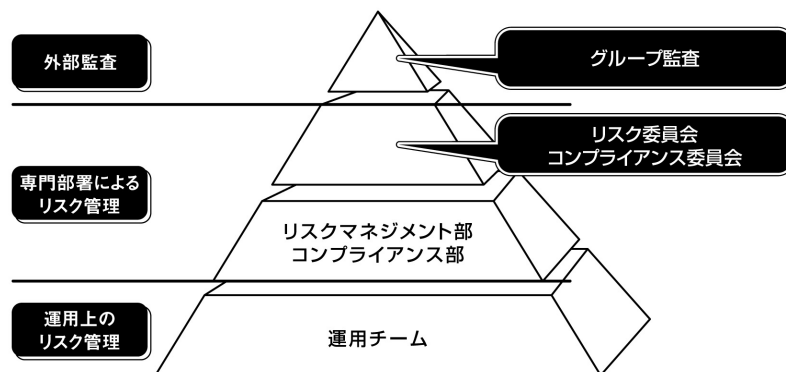
アムンディ・ジャパン株式会社では、以下のように2段階でリスクのモニタリングおよび管理を行っております。

### 運用パフォーマンスの評価・分析

リスクマネジメント部が運用リスク全般の状況をモニタリングするとともに、運用パフォーマンスの分析および評価を行い、定期的にリスク委員会に報告しております。

### 運用リスクの管理

リスクマネジメント部が法令諸規則および運用ガイドライン等の遵守状況のモニタリングを行い、運用状況を検証および管理しており、定期的にリスク委員会に報告しております。また、コンプライアンス部が運用にかかる社内規程、関連法規の遵守を徹底しており、重大なコンプライアンス事案については、コンプライアンス委員会で審議が行われ必要な方策を講じております。



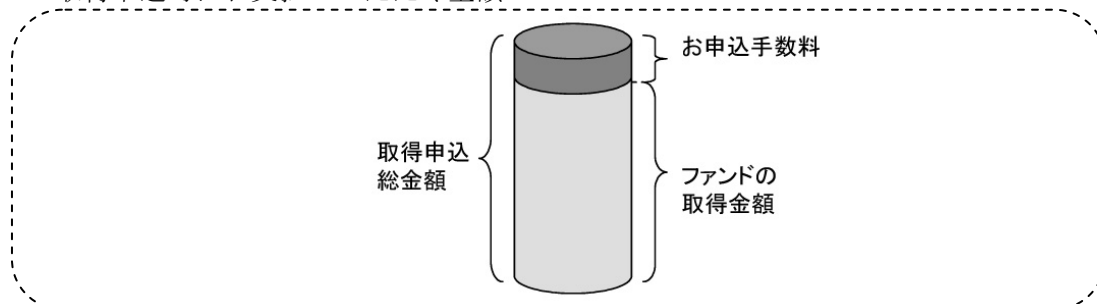
ファンドのリスク管理体制等は本書作成日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

## 4 手数料等及び税金

### (1) 申込手数料

申込手数料は、取得申込受付日の翌営業日の1口当たりの基準価額に、取得口数を乗じて得た額に、販売会社が独自に定める申込手数料率を乗じて得た額とし、取得申込時にご負担いただくものとします。なお、本書作成日現在、この申込手数料率は3.15%（税抜き3.00%）が上限となっております。

<取得申込時にお支払いいただく金額>



販売会社が独自に定める申込手数料率についての詳細は、販売会社（販売会社については、下記お問い合わせ先にご照会ください。）にお問い合わせください。

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 :フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104  
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先:ホームページアドレス:www.amundi.co.jp

### (2) 換金（解約）手数料

換金（解約）手数料はありません。ただし、一部解約の申込みを受け付けた日の翌営業日の基準価額から当該基準価額に0.2%の率を乗じて得た信託財産留保額\*が控除されます。

\*「信託財産留保額」とは運用の安定性を高めるために換金する受益者が負担する金額で投資信託財産に留保されます。

### (3) 信託報酬等

① 信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し年率1.197%（税抜き1.140%）を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。信託報酬の配分は以下の通りとします。

(単位: %)

委託会社	販売会社	受託会社
0.315 (税抜き0.300)	0.840 (税抜き0.800)	0.042 (税抜き0.040)

② 信託報酬は、毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。

なお、信託報酬の販売会社への配分は、販売会社の行う業務に対する代行手数料であり、委託会社がいったん投資信託財産から収受した後、販売会社ごとの純資産総額に応じて支払います。

#### (4) その他の手数料等

- ① 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問・税務顧問への報酬、目論見書、運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用、郵送費用、公告費用、格付費用、受益権の管理事務に関連する費用等およびこれらの諸費用にかかる消費税等に相当する金額を含みます。）および受託会社の立替えた立替金の利息は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁することができます。
- ② 委託会社は、前記①に定める信託事務の処理等に要する諸費用の支払いを投資信託財産のために行い、支払金額の支弁を投資信託財産から受けることができます。この場合、委託会社は、現に投資信託財産のために支払った金額の支弁を受ける際に、あらかじめ受領する金額に上限を付することができます。また、委託会社は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、かかる諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積もったうえで、実際の費用額にかかわらず固定率または固定金額にて投資信託財産からその支弁を受けることができます。この場合、委託会社は投資信託財産の規模等を考慮して、信託の設定時または期中にあらかじめ定めた範囲内でかかる上限、固定率または固定金額を変更することができます。
- ③ 前記②において諸費用の固定率または固定金額を定める場合、かかる費用の額は計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に応じて計算し、毎計算期間末日または信託終了のとき当該消費税等相当額とともに信託財産中より支弁します。
- ④ 組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料は、投資信託財産が負担します。このほかに、売買委託手数料に対する消費税等相当額、先物取引・オプション取引等およびコール取引等に要する費用ならびに外国における資産の保管等に要する費用についても投資信託財産が負担します。投資信託財産の金融商品取引等に伴う手数料や税金は投資信託財産が負担しますが、売買委託手数料等は国や市場によって異なります。また、売買金額によっても異なります。
- ⑤ ファンドが投資する「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」および「SGAM Fund マネー マーケット (USD)」の本書作成日現在の運用報酬額の上限は、それぞれの投資信託財産の純資産総額に対し年率 1.0%および年率 0.15%を乗じて得た額となります。また「オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ」には成功報酬がかかります。したがって、当該信託報酬等を考慮した場合のファンドの実質的な信託報酬率の上限は、年率 2.197%（＝1.197%＋1.0%。国内投資信託にかかる消費税を含みます。）＋成功報酬となり、実際の信託報酬額はサブファンドの組入状況、運用状況によって変動します。  
このほか、サブファンドにおいては年率 0.01%のルクセンブルグの年次税のほか、管理費用、受託費用、監査費用等がかかります。

## (5) 課税上の取扱い

### ① 個人の受益者に対する課税

○収益分配金のうち課税扱い（配当所得）となる普通分配金における源泉徴収の税率は、平成 23 年 12 月 31 日までは 10%（所得税 7%および地方税 3%）、平成 24 年 1 月 1 日からは 20%（所得税 15%および地方税 5%）となり、原則として、確定申告は不要です。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することができます。

○解約時および償還時における差益は譲渡所得とみなして課税され、税率は、平成 23 年 12 月 31 日までは 10%（所得税 7%および地方税 3%）となり（特定口座（源泉徴収選択口座）を利用している場合は、原則として、確定申告は不要となります。）、平成 24 年 1 月 1 日からは 20%（所得税 15%および地方税 5%）となる予定です。

※確定申告により、申告分離課税を選択した場合、上場株式等の配当所得（収益分配金を含みます。）と上場株式等の譲渡損益との損益通算をすることが可能です。

※ファンドは、配当控除は適用されません。

### ② 法人の受益者に対する課税

法人の受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約請求時および償還時の個別元本超過額については、平成 23 年 12 月 31 日までは 7%（所得税）、平成 24 年 1 月 1 日からは 15%（所得税）の税率で源泉徴収されます（地方税の源泉徴収はありません。）。

※ファンドは、益金不算入制度は適用されません。

### ③ 個別元本について

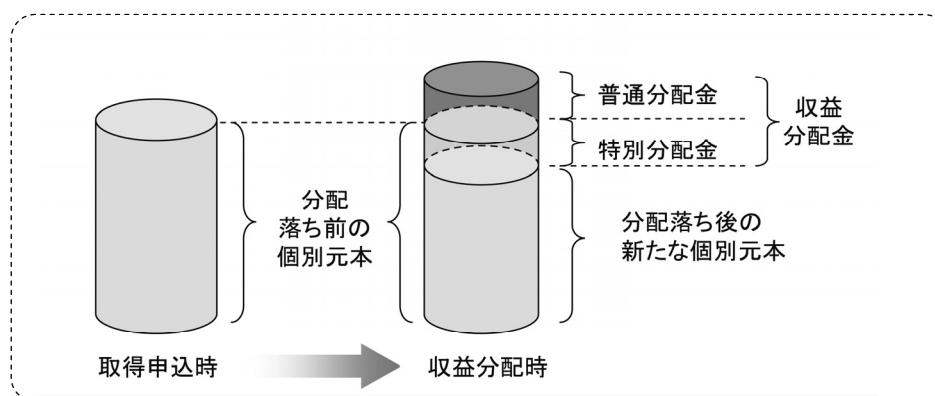
- 1) 追加型の株式投資信託について、受益者ごとの取得申込時のファンドの価額等（申込手数料は含まれません。）が受益者の元本（個別元本）に当たります。
- 2) 受益者が同一ファンドを複数回取得した場合の個別元本は、受益者が追加信託を行うつど、その受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。
- 3) 振替受益権については振替受益権ごとに同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については販売会社ごとに、個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合は支店等ごとに、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」とがあり、両コースで取得する場合はコース別に、個別元本の算出が行われる場合があります。
- 4) 受益者が特別分配金を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から特別分配金<sup>\*</sup>を控除した額が、その後の個別元本となります。

※「特別分配金」については、下記「④収益分配金の課税について」をご参照ください。

### ④ 収益分配金の課税について

追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「特別分配金」（受益者ごとの元本の一部払戻しに相当する部分）の区分があります。受益者が収益分配金を受け取る際、収益分配金落ち後の基準価額が受益者の個別元本と同額の場合または受益者の個別元本を上回っている場合には、収益分配金の全額が普通分配金となり、収益分配金落ち後の基準価額が受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が特別分配金となり、収益分配金から前記特別分配金を控除した額が

普通分配金となります。なお、受益者が特別分配金を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から特別分配金を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。



※ 上図は収益分配金のイメージ図であり、収益分配金の支払いおよびその水準を保証するものではありません。

- ◇ 税法が改正された場合等には、上記「(5) 課税上の取扱い」の他、本書における税制等に関する記載内容が変更されることがあります。
- ◇ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家にご確認ください。

## 5 運用状況

### (1) 投資状況

(平成22年4月末日現在)

資産の種類	国名	時価合計 (円)	投資比率 (%)
投資証券	ルクセンブルク	8,148,661,826	96.75
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		273,298,947	3.25
合計（純資産総額）		8,421,960,773	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価評価額の比率をいいます。

### 《参考》

#### オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズの投資状況

(平成22年4月末日現在)

資産の種類	国・地域	時価合計（ドル）	投資比率（%）
株式	サウジアラビア	105,788,163.27	39.04
	カタール	65,197,464.35	24.06
	アラブ	53,976,165.10	19.92
	エジプト	16,912,562.34	6.24
	クウェート	11,759,064.72	4.34
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		17,355,141.81	6.40
合計（純資産総額）		270,988,561.59	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価評価額の比率をいいます。

SGAM Fund マネー マーケット (USD) の投資状況

(平成22年4月末日現在)

資産の種類	時価合計 (ドル)	投資比率 (%)
譲渡可能定期預金証書	211,693,933.88	84.00
現金・預金・その他の資産 (負債控除後)	40,362,402	16.02
為替先物	△32,308.13	△0.01
合計 (純資産総額)	252,024,028.04	100.00

(注) 投資比率とは、サブファンドの純資産総額に対する当該資産の時価評価額の比率をいいます。

(2) 投資資産

① 投資有価証券の主要銘柄

(平成22年4月末日現在)

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価 (円)	簿価 (円)	評価単価 (円)	時価 (円)	投資比率 (%)
ルクセンブルグ	投資証券	OCEAN FUND EQUITIES MENA OPPORTUNITIES	1,038,349.024	7,926.33	8,230,305,533	7,844.90	8,145,746,128	96.72
ルクセンブルグ	投資証券	SGAM FUND MONEY MARKET USD	255.102	11,428.63	2,915,468	11,429.53	2,915,698	0.03

種類別投資比率

種類	国/地域	比率 (%)
投資証券	ルクセンブルグ	96.75
合計		96.75

(注) 比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価評価額の比率であります。

- ② 投資不動産物件  
該当事項はありません。
- ③ その他投資資産の主要なもの  
該当事項はありません。

《参考》 オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズの投資資産  
 ① 投資有価証券の主要銘柄

(平成22年4月末日現在)

国/地域	種類	銘柄名	通貨	数量	業種	簿価 (ドル)	評価額 (ドル)	投資 比率 (%)
カタール	株式	QATAR ELECTRICITY & WATER	カタールリヤル	807,180	公益事業	24,052,827	24,718,518.98	9.87
アラブ	株式	ALDAR PROPERTIES	UAEディルハム	16,490,034	不動産	27,645,657	17,598,961.37	7.03
アラブ	株式	UNION NATIONAL BANK	UAEディルハム	15,440,966	銀行	21,687,299	13,578,644.21	5.42
カタール	株式	QATAR NATL NAVIG. & TRANSPORT	カタールリヤル	585,922	運輸	14,546,579	12,745,068.47	5.09
サウジアラビア	ワラント	DEUTSCHE CW12 SAMBA 01/10/12	アメリカドル	581,020	銀行	7,818,793	9,334,806.76	3.73
クウェート	株式	KUWAIT INVESTMENT PROJECTS	クウェートディナール	5,532,243	各種金融	9,206,991	8,144,646.88	3.25
サウジアラビア	ワラント	CITIGRP CERTIFICATES ETHIHAD 16/02/11	アメリカドル	564,724	通信	6,857,196	7,981,221.70	3.19
カタール	株式	DOHA BANK	カタールリヤル	572,448	銀行	9,838,302	7,971,153.79	3.18
サウジアラビア	ワラント	MORGAN STANLEY CERTIFICATES 08/09/10 SAUDI INTL	アメリカドル	1,157,954	素材	6,949,708	7,842,996.14	3.13
カタール	株式	INDUSTRIES QATAR	カタールリヤル	228,366	資本財	6,412,885	7,212,842.88	2.88
アラブ	株式	EMAAR PROPERTIES	UAEディルハム	6,734,973	不動産	4,878,976	7,169,552.29	2.86
サウジアラビア	ワラント	CREDIT SUISSE SEA HOUSING SERVICES	アメリカドル	458,685	不動産	7,611,930	7,094,136.88	2.83
サウジアラビア	ワラント	Morgan stanley BV (Riyadh Bank)	アメリカドル	894,494	銀行	6,782,153	6,893,382.23	2.75
エジプト	株式	EGYPTIAN INTL PHARMACEUTICALS	エジプトポンド	979,696	医薬品	5,926,256	6,431,770.27	2.57
サウジアラビア	ワラント	DEUTSCHE BANK WRT SABIC 01/10/12	アメリカドル	228,827	素材	3,037,594	6,406,984.38	2.56
アラブ	株式	ABU DHABI NATIONAL HOTELS	UAEディルハム	6,429,639	サービス	12,034,040	6,301,856.51	2.52
クウェート	株式	MABANEE COMPANY	クウェートディナール	2,571,088	資本財	4,940,341	5,967,244.39	2.38
カタール	株式	COMMERCIAL BANK OF QATAR	カタールリヤル	272,522	銀行	6,679,837	5,785,731.13	2.31
サウジアラビア	ワラント	MORGAN WRT SAMBA FINANCIAL 30/09/10	アメリカドル	357,065	銀行	5,261,324	5,736,691.99	2.29
カタール	株式	QATAR NATIONAL BANK	カタールリヤル	149,337	銀行	5,050,600	5,705,211.37	2.28
サウジアラビア	ワラント	CREDIT SUISSE 13/03/11 CERTIFICATES MOUWASSAT	アメリカドル	314,258	ヘルスケア	4,763,629	5,698,393.18	2.28
サウジアラビア	ワラント	CREDIT SUISSE INTL PARTICIPATION NOTE 2009 28 02 11 VRN ON (SIPCHEM)	アメリカドル	810,119	素材	4,230,563	5,487,057.50	2.19
エジプト	株式	NATIONAL SOCIETE GENERALE BANK	エジプトポンド	802,882	銀行	4,802,868	5,327,294.45	2.13
サウジアラビア	ワラント	CERTIFICAT HSBC ALMARAI EQUITY 07/11/11	アメリカドル	97,050	生活必需品	3,593,823	5,149,982.51	2.06
アラブ	株式	NATIONAL BANK OF ABU DHABI	UAEディルハム	1,463,811	銀行	4,862,632	4,782,397.52	1.91
サウジアラビア	ワラント	DB LONDON WT NATIONAL SHIPPIN 24/12/2012	アメリカドル	844,333	エネルギー	4,227,984	4,761,911.47	1.90
サウジアラビア	ワラント	HSBC BK CERTIFICATE ALHOKAIR 05/09/11	アメリカドル	378,535	サービス	3,451,835	4,279,856.77	1.71
サウジアラビア	ワラント	DBK WTS RIYAD BK 10/01/12	アメリカドル	393,287	銀行	3,121,987	3,030,850.53	1.21
クウェート	株式	BURGAN BANK	クウェートディナール	2,310,000	銀行	2,768,506	2,800,671.07	1.12
サウジアラビア	ワラント	HSBC /BK OF PALESTINE CERTIF 11/06/19	アメリカドル	730,180	銀行	2,547,119	2,701,666.00	1.08

(注1) 上位30銘柄

(注2) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の時価評価額の比率であります。



② 投資不動産物件

該当事項はありません。

③ その他投資資産の主要なもの

資産の種類		銘柄	通貨	数量	評価額 (ドル)	投資比率 (%)
エクイティスワップ取引	買	ALBAPTAIN AB	ドル	103,929.00	1,175,059.73	0.47
	買	SPIMACO	ドル	108,280.00	978,825.21	0.39
	買	SPIMACO	ドル	98,925.00	894,258.26	0.36
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	55,445.00	626,881.68	0.25
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	54,417.00	615,258.74	0.25
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	53,378.00	603,511.42	0.24
	買	SPIMACO	ドル	62,251.00	562,734.10	0.22
	買	FAA/201009/C/1. (FAWAZ ABDULAZIZ ALHOKAIR)	ドル	49,635.00	561,191.67	0.22
	買	SPIMACO	ドル	55,550.00	502,158.67	0.20
	買	SPIMACO	ドル	50,199.00	453,786.91	0.18
	買	SPIMACO	ドル	45,827.00	414,265.08	0.17
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	34,617.00	391,392.61	0.16
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	33,125.00	374,523.51	0.15
	買	ALMR/201006/C/1.	ドル	4,784.00	253,864.16	0.10
	買	SPIMACO	ドル	17,377.00	157,083.91	0.06
	買	ALBAPTAIN AB	ドル	13,416.00	151,686.26	0.06

## SGAM Fund マネー マーケット (USD) の投資資産

### ① 投資有価証券の主要銘柄

< 譲渡可能定期預金証書 >

(平成22年4月末日現在)

国・地域	銘柄	通貨	数量	簿価 (ドル)	評価額 (ドル)	投資 比率 (%)
スペイン	CAJA DE AHORROS MONTE PIE 26/07/2010	ユーロ	7,000,000	9,295,131	9,313,479	3.70
イギリス	CD BARCLAYS BANK PLC PRE 20100803 0.48	ユーロ	5,000,000	6,613,887	6,599,904	2.62
アイルランド	UNICREDITO bk IRELAND 10/05/2010	ユーロ	4,000,000	5,506,432	5,539,170	2.20
イギリス	BANCO BILBAO 08/06/2010	ユーロ	4,000,000	5,436,270	5,455,834	2.16
フランス	CAISSE FEDERALE CIT MUT OCEAN 20/05/10	ユーロ	4,000,000	5,444,739	5,421,738	2.15
イギリス	LLYODS 08/07/2010	ユーロ	4,000,000	5,347,520	5,343,740	2.12
アイルランド	BANESTO 29/07/2010	ユーロ	4,000,000	5,320,417	5,338,852	2.12
スウェーデン	CD SVENSKA HANDELSBANKE PRE 20100728 0.43	ユーロ	4,000,000	5,323,813	5,326,129	2.11
オランダ	CD ING BANK NV PRE 20100730 0.47	ユーロ	4,000,000	5,275,333	5,275,539	2.09
イギリス	CD NATIONWIDE BUILDING  PRE 20100615 1.01	ユーロ	3,000,000	4,364,315	4,422,685	1.75
ドイツ	CD LANDESBANK BADEN-WUE PRE 20100505 0.54	ユーロ	3,000,000	4,168,485	4,206,474	1.67
デンマーク	JYSKE BANK 17/05/2010	ユーロ	3,000,000	4,077,315	4,124,295	1.64
イギリス	CD ROYAL BANK OF SCOTLA PRE 20100519 0.4	ユーロ	3,000,000	4,092,303	4,121,973	1.64
イギリス	CD NATIONWIDE BUILDING  PRE 20100616 0.53	ユーロ	3,000,000	4,121,368	4,120,743	1.64
ドイツ	CD DEUTSCHE POSTBANK AG PRE 20100510 0.6	ユーロ	3,000,000	4,095,007	4,108,675	1.63
ケイマン	CAIXA 22/06/2010	ユーロ	3,000,000	4,074,457	4,102,740	1.63
スペイン	ENDESA 0% 07/06/10	ユーロ	3,000,000	4,090,643	4,099,589	1.63
フランス	CD CFCM NORD EUROPE PRE 20100518 0.42	ユーロ	3,000,000	4,106,336	4,093,384	1.62
マルタ	BMW MALTA FINANCE 16/07/2010	ユーロ	3,000,000	4,082,171	4,088,795	1.62
イギリス	CD BANK OF SCOTLAND PLC PRE 20100525 0.45	ユーロ	3,000,000	4,072,718	4,085,477	1.62
ドイツ	VOLKSWAGEN 04/06/2010	ユーロ	3,000,000	4,100,780	4,084,424	1.62
スペイン	SANTANDER 13/07/2010	ユーロ	3,000,000	4,027,135	4,080,590	1.62
フランス	BFCM 02/06/2010	ユーロ	3,000,000	4,089,763	4,080,390	1.62
フランス	NATIXIS 15/07/2010	ユーロ	3,000,000	4,077,607	4,079,795	1.62
オランダ	CD SNS BANK NV PRE 20100611 0.67	ユーロ	3,000,000	4,067,635	4,074,346	1.62
フランス	CRCAM 26/05/2010	ユーロ	3,000,000	4,077,765	4,062,385	1.61
ドイツ	NORDDEUTSCHE LANDESBK 01/03/2010	ユーロ	3,000,000	4,051,516	4,057,302	1.61
イタリア	CD BANCA MONTE DEI PASC PRE 20100525 0.59	ユーロ	3,000,000	4,047,713	4,047,042	1.61
ルクセンブルク	CD BANCO DI BRESCIA SPA PRE 20100706 0.52	ユーロ	3,000,000	4,053,971	4,037,269	1.60
フランス	CD BANQUE SOFINCO PRE 20100630 0.42	ユーロ	3,000,000	4,015,240	4,007,689	1.59

### ② 投資不動産物件

該当事項はありません。

### ③ その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

### (3) 運用実績

#### ①純資産の推移

	純資産総額 (百万円)	1万口当たりの 基準価額 (円)
第1期計算期間末日 (平成20年10月15日)	18,684 (18,684)	6,405 (6,405)
第2期計算期間末日 (平成21年 4月15日)	10,733 (10,733)	4,311 (4,311)
第3期計算期間末日 (平成21年10月15日)	10,876 (10,876)	5,295 (5,295)
第4期計算期間末日 (平成22年 4月15日)	8,649 (8,649)	5,614 (5,614)
平成21年 4月末	10,576	4,366
5月末	11,565	4,821
6月末	11,454	4,771
7月末	11,742	5,089
8月末	11,270	5,058
9月末	11,135	5,188
10月末	10,485	5,227
11月末	9,509	4,846
12月末	8,879	4,976
平成22年 1月末	8,164	4,745
2月末	7,980	4,836
3月末	8,631	5,462
4月末	8,421	5,596

#### ②分配の推移

計算期間	1万口当たり分配金 (税引前) (円)
第1期計算期間 (平成20年1月31日～平成20年10月15日)	0
第2期計算期間 (平成20年10月16日～平成21年4月15日)	0
第3期計算期間 (平成21年4月16日～平成21年10月15日)	0
第4期計算期間 (平成21年10月16日～平成22年4月15日)	0

#### ③収益率の推移

計算期間	収益率 (%)
第1期計算期間 (平成20年1月31日～平成20年10月15日)	△35.95
第2期計算期間 (平成20年10月16日～平成21年4月15日)	△32.69
第3期計算期間 (平成21年4月16日～平成21年10月15日)	22.83
第4期計算期間 (平成21年10月16日～平成22年4月15日)	6.02

(注) 収益率とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。第1期の場合は当該計算期間の期初の基準価額（当初1万口当たり10,000円）。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数をいいます。

## 6 手続等の概要

### (1) 申込（販売）手続等

- ① 販売会社は、申込期間中の販売会社の営業日において、ファンドの募集・販売の取扱いを行います。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日の場合には、取得申込みの受付は行いません。ファンドの取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、販売会社に対しファンドの取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。取得申込みの受付は、販売会社所定の時限までとし、受付時間を過ぎた場合は翌営業日の取扱いとします。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。
- ② ファンドの価額は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。基準価額は、委託会社の毎営業日に計算され、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 : フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先: ホームページアドレス: [www.amundi.co.jp](http://www.amundi.co.jp)

- ③ 最低申込口数および申込単位は販売会社が定める単位とします。また、収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」があります。各申込コースとも販売会社によって名称が異なる場合があります。詳細は販売会社（販売会社については前記②のお問い合わせ先にご照会ください。）へお問い合わせください。  
また、販売会社により「定時定額購入コース」等を取り扱う場合があります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。
- ④ 取得申込時には申込手数料をご負担いただくものとし、ただし、「分配金再投資コース」において収益分配金を再投資する場合には、申込手数料はありません。
- ⑤ 委託会社は、取得申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、

クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。)があるときは、委託会社の判断により、ファンドの取得申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた取得申込みの受付を取り消すことができます。

このほか、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間において、取得申込みの受付を行わないことがあります。

詳しくは「**第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 6 手続等の概要<ラマダン・犠牲祭等による休日に該当する場合の取扱い>**」をご参照ください。

## (2) 換金（解約）手続等

- ① 換金の請求を行う受益者（販売会社を含みます。）は、自己に帰属する受益権につき、販売会社の営業日において、販売会社が定める解約単位をもって一部解約の実行の請求（以下、「解約請求」といいます。）を行うことで換金ができます。解約請求は、振替受益権をもって行うものとします。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日の場合には解約請求の申込みは受け付けません。

解約請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の解約請求にかかるこの投資信託契約の一部解約の実行を委託会社が行うのと引換えに、当該解約請求にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。解約請求の申込みの受付は、販売会社所定の時限までとし、受付時間を過ぎた場合は翌営業日の取扱いとします。解約請求に関する詳細については販売会社にお問い合わせください。

- ② 解約の価額は、解約請求の申込みを受け付けた日の翌営業日の基準価額から、当該基準価額に0.2%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した価額とします。なお解約代金は、解約受益者の解約請求を受け付けた日から起算して、原則として、6営業日目から受益者に支払います。なお、換金（解約）手数料はありません。

$$\text{解約価額} = \text{基準価額} - \text{信託財産留保額} = \text{基準価額} - (\text{基準価額} \times 0.2\%)$$

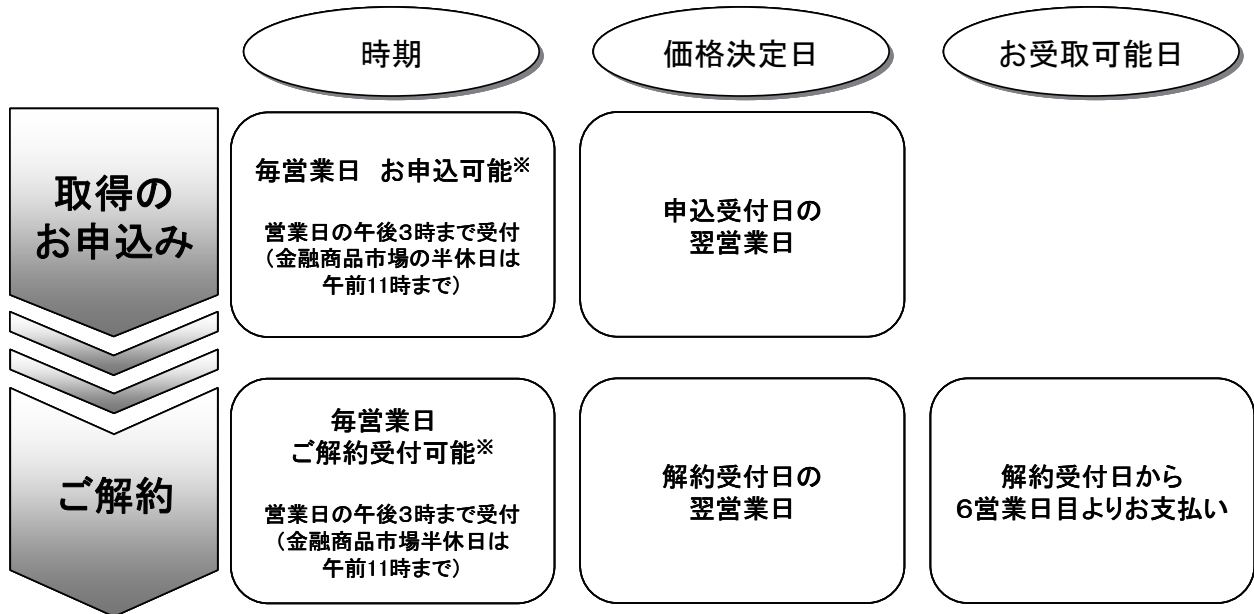
- ③ 受益者が、換金にかかる解約請求の申込みをするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。
- ④ 委託会社は、解約請求を受け付けた場合には、この投資信託契約の一部を解約します。
- ⑤ 委託会社は、解約請求申込受付日の一部解約の実行の請求の総額が多額である場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託者が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、外国投資証券の払戻しにおける制限事項等の影響を受ける場合その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。）があるときは、解約請求の受付を制限または中止すること、およびすでに受け付けた請求を取り消すことができます。

このほか、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間におい

て、解約請求申込みの受付を行わないことがあります。

詳しくは「**第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 6 手続等の概要**くらマダン・犠牲祭等による休日に該当する場合の取扱い」をご参照ください。

※買取請求による換金（解約）のお取扱いについては販売会社によって異なりますので、詳しくはお申込みの販売会社にお問い合わせください。



※ルクセンブルグの銀行休業日の場合には、取得および解約の申込みの受付は行いません。

#### ＜ラマダン・犠牲祭等による休日に該当する場合の取扱い＞

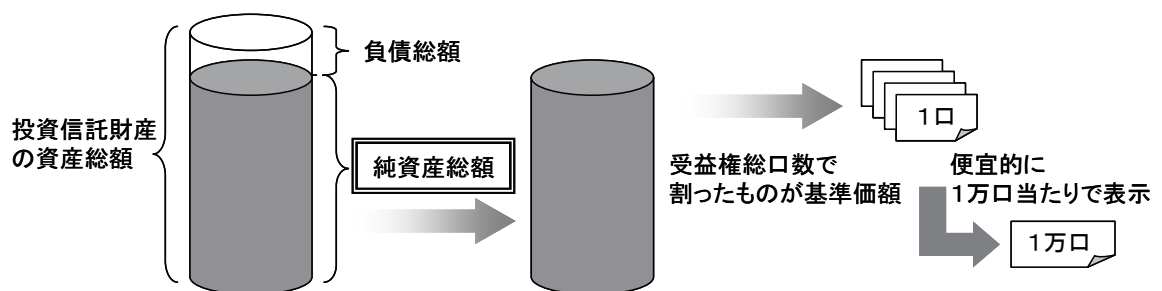
ファンドが主に実質的に投資する中東・北アフリカ諸国では、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間に金融商品市場が数日間休場となる可能性があります。投資対象各国の金融商品市場の休場日が集中した場合にも、委託会社の判断により、ファンドの取得・解約のお申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得・解約のお申込みの受け付けを取り消すことがあります。

## 7 管理及び運営の概要

### 資産の評価 <基準価額の算定>

基準価額とは、投資信託財産に属する資産を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（以下、「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。）、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における当日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また、予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。



### <基準価額の算出頻度と公表>

基準価額は、委託会社によって毎営業日計算され、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。また基準価額は原則として、計算日の翌日の日本経済新聞に掲載されます。（朝刊のオープン基準価格欄 [アムンディ] にて「アラブ株」の略称で掲載されます。）なお、基準価額は便宜上1万口当りに表示されます。

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 :フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

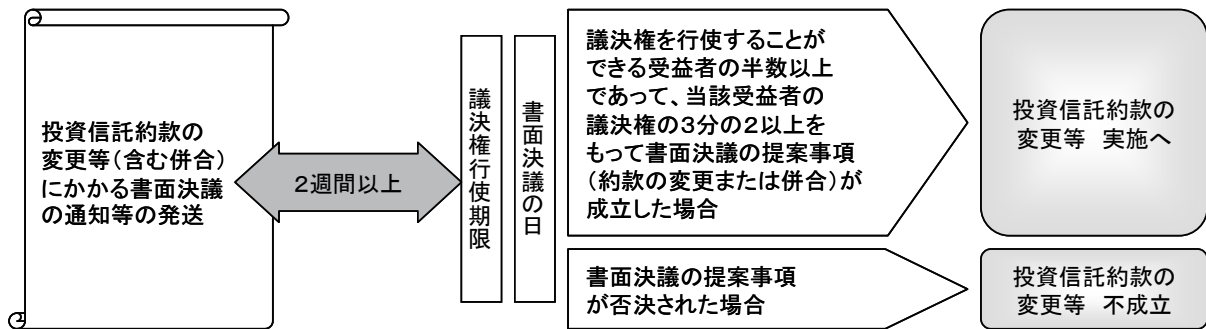
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先:ホームページアドレス:www.amundi.co.jp

<b>追加信託金等の計算方法</b>	<p>追加信託金は、追加信託を行う日の前営業日の基準価額に、当日の追加信託される受益権の口数を乗じて得た額とします。</p> <p>収益分配金、償還金および一部解約金にかかる収益調整金<sup>※1</sup>は、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額等<sup>※2</sup>に応じて計算されるものとします。</p> <p>※1「収益調整金」とは、所得税法施行令第27条の規定によるものとし、受益者ごとの信託時の受益権の価額と元本との差額をいい、原則として、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。</p> <p>※2「受益者ごとの信託時の受益権の価額等」とは、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。</p>
<b>信託期間</b>	<p>原則として無期限<sup>※</sup>です。</p> <p>※ただし信託期間中にこの投資信託契約を終了させる場合があります。詳細は後記「信託の終了」をご覧ください。</p>
<b>計算期間</b>	<p>原則として、毎年4月16日から10月15日まで、10月16日から翌年4月15日までとします。</p> <p>※各計算期間終了日に該当する日が休業日のときは、翌営業日とします。</p>
<b>投資信託約款の変更等</b>	<p>(a) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この投資信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ監督官庁に届け出ます。</p> <p>(b) 委託会社は、(a)の変更事項の内容が重大なものおよび併合について書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、これらの事項を記載した書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を受益者に発します。受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなす旨を定めています。</p> <p>(c) (b)の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。</p> <p>(d) 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。</p> <p>(e) (b)から(d)の手続は、委託会社が重大な投資信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。</p>



< 投資信託約款の変更等の内容が重大なものである場合の手続 >



(f) 書面決議において当該変更等に対して反対した受益者は、販売会社を通じ受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。

信託の終了  
(投資信託  
契約の解  
約)

(a) 委託会社は、次の場合においては、受託会社と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合には、あらかじめ、監督官庁に届け出ます。

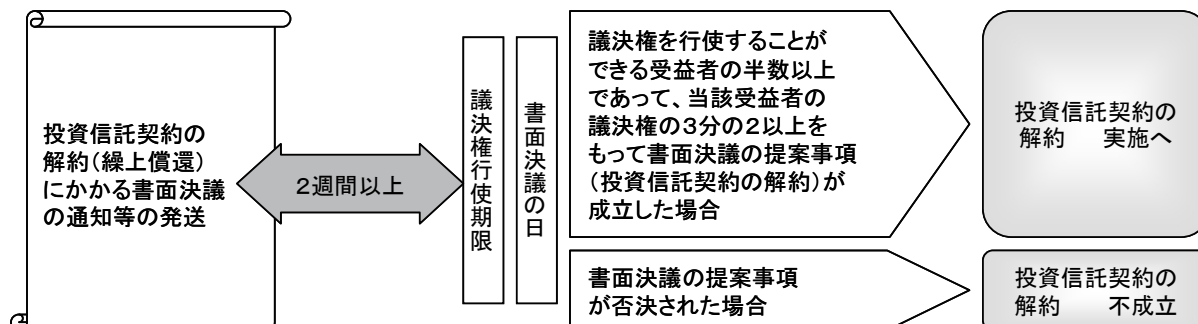
- A 投資信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき
- B やむを得ない事情が発生したとき
- C 投資信託契約の一部を解約することにより、受益権総口数に基準価額を乗じて得られる純資産総額が10億円を下回ることとなった場合
- D AからCにかかわらず、ファンドが投資対象とする投資信託証券にかかる投資信託が繰上償還することとなる場合または投資法人が解散することとなる場合

委託会社は、前述の事項AからCについて、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに投資信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、これらの事項を記載した書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を受益者に発します。受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなす旨を定めています。

- (b) (a) の書面決議は議決権を行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- (c) 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- (d) (a) から (c) の手続は、委託会社が投資信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託契約にかかるすべ

ての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また(a)のAからDにより投資信託契約を解約する場合であっても、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合には適用しません。

<信託の終了の手続>



(e) 書面決議において当該変更等に対して反対した受益者は、販売会社を通じ受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。

(f) 委託会社は、次の場合においては、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

- A 委託会社が解散したとき、または業務を廃止したとき
- B 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき
- C 監督官庁から投資信託契約の解約の命令を受けたとき

BまたはCにおいて、監督官庁がこの投資信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、前記「投資信託約款の変更等」の書面決議で提案事項を否決された場合を除き、委託会社と受託会社との間において存続します。

**運用報告書** 毎年4月および10月の計算期間の終了後および償還時に、当該期間の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成し、販売会社より送付します。

**公告** 日本経済新聞に掲載します。

**開示** ファンドの有価証券報告書を毎年4月および10月の計算期間の終了後3カ月以内に提出します。また、これらの開示書類は、金融庁の電子開示システム(EDINET)によって提出されており、同庁が提供するホームページ(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)にて閲覧することができます。

## 第2 財務ハイライト情報

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）については同内閣府令附則第2条第1項第1号により、改正前の財務諸表等規則に基づき作成しており、第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）については改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、投資信託財産計算規則は、平成21年6月24日付内閣府令第35号により改正されておりますが、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）については同内閣府令附則第16条第2項により、改正前の投資信託財産計算規則に基づき作成しており、第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）については改正後の投資信託財産計算規則に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

ここに表示する財務諸表（「貸借対照表」および「損益及び剰余金計算書」）は、有価証券届出書「第三部ファンドの詳細情報 第4ファンドの経理状況」（投資信託説明書（請求目論見書））から抜粋して記載しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）及び第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けており、その証明にかかる監査報告書は当該財務諸表に添付されております。

SG アラブ株式ファンド

1 貸借対照表

(単位：円)

科 目	期 別	第3期 (平成21年10月15日現在)	第4期 (平成22年4月15日現在)
		金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
預金		1,789,730	1,868,758
コール・ローン		315,498,816	387,776,941
投資証券		10,758,345,121	8,410,475,779
未収利息		432	531
流動資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009
資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		723,750	101,000
未払解約金		124,404,417	94,447,221
未払受託者報酬		2,397,346	1,876,353
未払委託者報酬		65,926,984	51,599,598
その他未払費用		6,077,683	2,214,344
流動負債合計		199,530,180	150,238,516
負債合計		199,530,180	150,238,516
純資産の部			
元本等			
元本		20,541,823,101	15,406,497,700
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△9,665,719,182	△6,756,614,207
(分配準備積立金)		87,831	169,143
元本等合計		10,876,103,919	8,649,883,493
純資産合計		10,876,103,919	8,649,883,493
負債純資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009

## 2 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

科 目	期 別	第3期	第4期
		自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
		金 額	金 額
営業収益			
受取利息		87,921	60,622
有価証券売買等損益		3,241,354,726	2,773,881
為替差損益		△891,359,183	363,602,487
営業収益合計		2,350,083,464	366,436,990
営業費用			
受託者報酬		2,397,346	1,876,353
委託者報酬		65,926,984	51,599,598
その他費用		6,389,696	2,492,985
営業費用合計		74,714,026	55,968,936
営業利益		2,275,369,438	310,468,054
経常利益		2,275,369,438	310,468,054
当期純利益		2,275,369,438	310,468,054
一部解約に伴う当期純利益金額の 分配額又は一部解約に伴う当期純 損失金額の分配額 (△)		417,631,932	△189,615,457
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△14,165,919,146	△9,665,719,182
剰余金増加額又は欠損金減少額		3,932,991,569	2,842,462,889
当期一部解約に伴う剰余金増加 額又は欠損金減少額		3,932,991,569	2,842,462,889
剰余金減少額又は欠損金増加額		1,290,529,111	433,441,425
当期追加信託に伴う剰余金減少 額又は欠損金増加額		1,290,529,111	433,441,425
分配金		—	—
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△9,665,719,182	△6,756,614,207

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別	第3期	第4期
項 目	自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
1. 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資証券 基準価額で評価しております。 (2) 外国為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。	(1) 投資証券 同左 (2) 外国為替予約取引 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他	当ファンドの計算期間は平成21年4月16日から平成21年10月15日までとなっております。	当ファンドの計算期間は平成21年10月16日から平成22年4月15日までとなっております。

### 第3 内国投資信託受益証券事務の概要

#### 1 受益者に対する特典

受益者に対する特典はありません。

#### 2 受益証券名義書き換えの事務等

ファンドの受益権は、振替制度における振替受益権であるため、委託会社はこの信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であって、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、ファンドの振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

なお、受益者は、委託会社がやむを得ない事情等により受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求、受益証券の再発行の請求を行わないものとします。

#### 3 受益権の譲渡

- ① 受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ② 前項の申請のある場合には、前記①の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、前記①の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 前記①の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### 4 受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

#### 5 受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社振法に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

#### 6 償還金

償還金は、償還日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（償還日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該償

還日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。)に支払います。

#### 7 質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受付け、一部解約金および償還金の支払い等については、投資信託約款の規定によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

### 第4 ファンドの詳細情報の項目

有価証券届出書「**第三部 ファンドの詳細情報**」(投資信託説明書(請求目論見書))の記載項目は以下の通りです。

- 第1 ファンドの沿革
- 第2 手続等
  - 1 申込(販売)手続等
  - 2 換金(解約)手続等
- 第3 管理及び運営
  - 1 資産管理等の概要
    - (1) 資産の評価
    - (2) 保管
    - (3) 信託期間
    - (4) 計算期間
    - (5) その他
  - 2 受益者の権利等
- 第4 ファンドの経理状況
  - 1 財務諸表
    - (1) 貸借対照表
    - (2) 損益及び剰余金計算書
    - (3) 注記表
    - (4) 附属明細表
  - 2 ファンドの現況
- 第5 設定及び解約の実績



運用の基本方針

投資信託約款第18条の規定に基づき、委託者が別に定める運用の基本方針は次のものとします。

【基本方針】

この投資信託は、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

【運用方法】

(1) 投資対象

投資信託証券を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

- ① この投資信託の運用はファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行い、実質的な投資は、投資信託証券への投資を通じて行います。
- ② 投資対象の投資信託証券は、別に定める指定投資信託証券に規定された投資信託証券に限るものとします。
- ③ ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業（中東・北アフリカ諸国の企業を含みます。）の株式等へ分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
- ④ 投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。
- ⑤ 原則として実質的に組み入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。

ただし、資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

(3) 投資制限

- ① 株式への直接投資は行いません。
- ② 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- ③ 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- ④ 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合は、原則として投資信託財産の純資産総額の50%以下とします。ただし、投資信託約款または投資法人規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されること（投資信託委託会社または販売会社による自己設定が行われる場合を含みます。）が定められている投資信託証券については、投資信託財産の純資産総額に対する同一銘柄の時価総額の制限を設けません。

【収益分配方針】

毎決算時（原則として年2回、毎年4月15日および10月15日。ただし、該当日が休業日の場合は翌営業日とします。）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。

(1) 分配対象額の範囲

繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

(2) 分配対象額についての分配方針

収益分配額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。

(3) 留保益の運用方針

留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

追加型証券投資信託

アムンディ・アラブ株式ファンド

投資信託約款

【信託の種類、委託者および受託者】

第1条 この信託は、証券投資信託であり、アムンディ・ジャパン株式会社を委託者とし、株式会社りそな銀行を受託者とします。

- ② この信託は、信託法（平成18年法律第108号）（以下「信託法」といいます。）の適用を受けます。

【信託事務の委託】

第2条 受託者は、信託法第28条第1号に基づく信託事務の委託として、信託事務の処理の一部について、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第1条第1項の規定による信託業務の兼営の認可を受けた一の金融機関（受託者の利害関係人（金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第2条第1項にて準用する信託業法第29条第2項第1号に規定する利害関係人をいいます。以下この条において同じ。）を含みます。）と信託契約を締結し、これを委託することができます。

- ② 前項における利害関係人に対する業務の委託については、受益者の保護に支障を生じることがない場合に行うものとします。

【信託の目的、金額および信託金の限度額】

第3条 委託者は、金200億円を上限として、受益者のために利殖の目的をもって信託し、受託者はこれを引き受けます。

- ② 委託者は、受託者と合意のうえ、金3,000億円を限度として信託金を追加することができるものとします。
- ③ 委託者は、受託者と合意のうえ、前項の限度額を変更することができるものとします。

【信託期間】

第4条 この信託の期間は、投資信託契約締結日から第42条第1項および第2項、第44条第1項、第45条第1項または第49条第2項の規定による信託終了の日または投資信託契約解約の日までとします。

【受益権の取得申込みの勧誘の種類】

第5条 この信託にかかる受益権の取得申込みの勧誘は、金融商品取引法第2条第3項第1号に掲げる場合に該当し、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第8項に定める公募により行われます。

【当初の受益者】

第6条 この投資信託契約締結当初および追加信託

当初の受益者は、委託者の指定する受益権取得申込者とし、第7条の規定により分割された受益権は、その取得申込口数に応じて、取得申込者に帰属します。

**【受益権の分割および再分割】**

第7条 委託者は、第3条第1項の規定による受益権については200億口を上限とし、追加信託によって生じた受益権については、これを追加信託のつど、第8条第1項の追加口数に、それぞれ均等に分割します。

- ② 委託者は、受益権の再分割を行いません。ただし、社債、株式等の振替に関する法律が施行された場合には、受託者と協議のうえ、同法の定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

**【追加信託の価額および口数、基準価額の計算方法】**

第8条 追加信託金は、追加信託を行う日の前営業日の基準価額に当該追加信託にかかる受益権の口数を乗じた額とします。

- ② この投資信託約款において基準価額とは、投資信託財産に属する資産を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価または一部償却原価法により評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除して得た金額（以下「純資産総額」といいます。）を計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、投資信託財産に属する外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下「外貨建有価証券」といいます。）、預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における計算日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。
- ③ 第22条に規定する予約為替の評価は、原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。

**【信託日時異なる受益権の内容】**

第9条 この信託の受益権は、信託の日時を異にすることにより差異を生ずることはありません。

**【受益権の帰属と受益証券の不発行】**

第10条 この信託のすべての受益権は、社債等の振替に関する法律（政令で定める日以降「社債、株式等の振替に関する法律」となった場合は読み替えるものとし、「社債、株式等の振替に関する法律」を含め「社振法」といいます。以下同じ。）の規定の適用を受けることとし、受益権の帰属は、委託者があらかじめこの信託の受益権を取り扱うことについて同意した一の振替機関（社振法第2条に規定する「振替機関」をいい、以下「振替機関」といいます。）および当該振替機関の下位の口座管理機関（社振法第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。

- ② 委託者は、この信託の受益権を取り扱う振替機関が社振法の規定により主務大臣の指定

を取り消された場合または当該指定が効力を失った場合であつて、当該振替機関の振替業を承継する者が存在しない場合その他やむを得ない事情がある場合を除き、振替受益権を表示する受益証券を発行しません。

- ③ 委託者は、第7条の規定により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとします。振替機関等は、委託者から振替機関への通知があつた場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。

**【受益権の設定にかかる受託者の通知】**

第11条 受託者は、投資信託契約締結日に生じた受益権については投資信託契約締結時に、また、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。

**【受益権の申込単位および価額】**

第12条 指定販売会社（委託者の指定する金融商品取引法第28条第1項に規定する第一種金融商品取引業を行う者および委託者の指定する金融商品取引法第2条第11項に規定する登録金融機関をいいます。以下同じ。）は、第7条の規定により分割される受益権を、その取得申込者に対し、1口単位をもって取得の申込みに応ずることができるものとします。ただし、別に定める自動けいぞく投資約款にしたがって契約（以下「別に定める契約」といいます。）を結んだ取得申込者に限り、1口の整数倍をもって取得申込みに応じることができるものとします。なお、最低申込口数および申込単位は、指定販売会社が個別に定めることができるものとします。

- ② 指定販売会社は、別に定める日に該当する日の取得申込みの場合は、前項の受益権の取得申込みに応じないものとします。ただし、第38条第2項に規定する収益分配金の再投資にかかる場合を除きます。

- ③ 第1項の取得申込者は、指定販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ自己のために開設されたこの信託の受益権の振替を行うための振替機関等の口座を示すものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。なお指定販売会社は、当該取得申込みの代金（第4項の受益権の価額に当該取得申込みの口数を乗じて得た額をいいます。）の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。

- ④ 第1項の場合の受益権の価額は、原則として、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に、指定販売会社がそれぞれ独自に定める手数料および当該手数料にかかる消費税および地方消費税（以下「消費費税等」といいます。）に相当する金額を加算した価額とします。ただし、この投資信託契約締結日前の取得申込

みにかかる受益権の価額は、1口につき1円に、手数料および当該手数料にかかる消費税等に相当する金額を加算した価額とします。

- ⑤ 前項の規定にかかわらず、受益者が別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する場合の受益権の価額は、原則として、第32条に規定する各計算期間終了日の基準価額とします。
- ⑥ 前各項の規定にかかわらず、取得申込者の取得申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託者が合理的に判断する場合、または金融商品市場（金融商品取引法第2条第17項に規定する取引所金融商品市場および金融商品取引法第2条第8項第3号ロに規定する外国金融商品市場をいい、金融商品市場等のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場を「金融商品市場」といいます。以下同じ。）における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。）があるときは、委託者の判断により、受益権の取得申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた取得申込みを取り消すことができます。

#### 【受益権の譲渡にかかる記載または記録】

第13条 受益者は、自己に帰属する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等に振替の申請をするものとします。

- ② 前項の申請のある場合には、前項の振替機関等は、当該譲渡にかかる譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、前項の振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社振法の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行われるよう通知するものとします。
- ③ 委託者は、第1項に規定する振替について、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿にかかる振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合等において、委託者が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

#### 【受益権の譲渡の対抗要件】

第14条 受益権の譲渡は、前条の規定による振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託者および受託者に対抗することができませ

ん。

#### 【投資の対象とする資産の種類】

第15条 この信託において投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 次に掲げる特定資産（「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。）
  - イ. 有価証券
  - ロ. デリバティブ取引にかかる権利（金融商品取引法第2条第20項に掲げるものをいい、第20条に掲げるものに限りません。）
  - ハ. 金銭債権
  - ニ. 約束手形
- 次に掲げる特定資産以外の資産
  - イ. 為替手形

#### 【運用の指図範囲】

第16条 委託者は、信託金を、主として別に定める指定投資信託証券に規定する受益証券または投資証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）、および次に掲げる有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。

- コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
  - 外国または外国の者の発行する証券または証書で前号の証券または証書の性質を有するもの
  - 国債証券、地方債証券、特別の法律により設立された法人の発行する債券および社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。）
  - 投資信託および外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
  - 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）
  - 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- なお、第3号の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引（売戻し条件付の買入れ）および債券貸借取引（現金担保付き債券借入れ）に限り行うことができます。また、第4号の証券および第5号の証券を以下「投資信託証券」といいます。

- ② 委託者は、信託金を、前項に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。次項において同じ。）により運用することを指図することができます。

- 預金
- コール・ローン
- 手形割引市場において売買される手形

4. 外国の者に対する権利で前号の権利の性質を有するもの

③ 第1項の規定にかかわらず、この信託の設定、解約、償還、投資環境の変動等への対応等、委託者が運用上必要と認めるときには、委託者は、信託金を前項第1号から第4号までに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

④ 委託者は、法令・規則等で認められる範囲で信託金を委託者の関係会社が発行する有価証券により運用することを指図することができます。また、委託者は、信託金による有価証券その他の資産の取得を委託者の関係会社から行うことを指図することができます。

#### 【利害関係人等との取引】

第17条 受託者は、受益者の保護に支障を生じることがないものであり、かつ信託業法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、委託者の指図により、受託者（第三者との間において信託財産のためにする取引その他の行為であって、受託者が当該第三者の代理人となって行うものを含みます。）および受託者の利害関係人（金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第2条第1項にて準用する信託業法第29条第2項第1号に規定する利害関係人をいいます。以下本項、次項および第23条において同じ。）、第23条第1項に定める信託業務の委託先およびその利害関係人または受託者における他の信託財産との間で、第15条、第16条第1項および第16条第2項に定める資産への投資等ならびに第20条、第22条、第27条、第28条および第29条に掲げる取引その他これらに類する行為を、行うことができます。

② 受託者は、受託者がこの信託の受託者としての権限に基づいて信託事務の処理として行うことができる取引その他の行為について、受託者または受託者の利害関係人の計算で行うことができるものとします。なお、受託者の利害関係人が当該利害関係人の計算で行う場合も同様とします。

③ 委託者は、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律ならびに関連法令に反しない場合には、信託財産と、委託者、その取締役、執行役および委託者の利害関係人等（金融商品取引法第31条の4第5項および同条第6項に規定する親法人等または子法人等をいいます。）または委託者が運用の指図を行う他の信託財産との間で、前2条に掲げる資産への投資等ならびに第20条、第22条、第27条、第28条および第29条に掲げる取引その他これらに類する行為を行うことの指図をすることができます。受託者は、委託者の指図により、当該投資等ならびに当該取引、当該行為を行うことができます。

④ 前3項の場合、委託者および受託者は、受益者に対して信託法第31条第3項および同法第32条第3項の通知は行いません。

#### 【運用の基本方針】

第18条 委託者は、投資信託財産の運用にあたって

は、別に定める運用の基本方針にしたがって、その指図を行います。

#### 【同一銘柄の投資信託証券の投資制限】

第19条 委託者は、投資信託財産に属する同一銘柄の投資信託証券の時価総額が、投資信託財産の純資産総額の100分の50を超えることとなる投資の指図をしません。

② 前項の規定にかかわらず、投資信託約款または投資法人規約においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されること（投資信託委託会社または販売会社による自己設定が行われる場合を含みます。）が定められている投資信託証券については、投資信託財産の純資産総額に対する同一銘柄の時価総額の制限を設けません。

#### 【先物取引等の運用指図】

第20条 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の金融商品取引所（この約款において、金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場を「取引所」といい、取引所のうち、有価証券の売買または金融商品取引法第28条第8項第3号もしくは同項第5号の取引を行う市場および当該市場を開設するものを「金融商品取引所」といいます。以下同じ。）における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）、および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めて取り扱うものとします（以下同じ。）。② 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行うことの指図をすることができます。

③ 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

④ 委託者は、投資信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、わが国の取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行うことの指図をすることができます。

#### 【特別の場合の外貨建有価証券への投資制限】

第21条 外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。

#### 【外国為替予約の指図】

第22条 委託者は、投資信託財産に属する外貨建資産について、当該外貨建資産の為替ヘッジのため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。

#### 【信託業務の委託等】

第23条 受託者は、委託者と協議のうえ、信託業務の一部について、信託業法第22条第1項に定める信託業務の委託をするときは、以下に掲げる基準のすべてに適合するもの（受託者の利害関係人を含みます。）を委託先として選定します。

1. 委託先の信用力に照らし、継続的に委託業務の遂行に懸念がないこと
  2. 委託先の委託業務にかかる実績等に照らし、委託業務を確実に処理する能力があると認められること
  3. 委託される信託財産に属する財産と自己の固有財産その他の財産とを区分する等の管理を行う体制が整備されていること
  4. 内部管理に関する業務を適正に遂行するための体制が整備されていること
- ② 受託者は、前項に定める委託先の選定にあたっては、当該委託先が前項各号に掲げる基準に適合していることを確認するものとします。
- ③ 前2項にかかわらず、受託者は、次の各号に掲げる業務を、受託者および委託者が適当と認める者（受託者の利害関係人を含みます。）に委託できるものとします。

1. 信託財産の保存にかかる業務
2. 信託財産の性質を変えない範囲内において、その利用または改良を目的とする業務
3. 委託者のみの指図により信託財産の処分およびその他の信託の目的の達成のため必要な行為にかかる業務
4. 受託者が行う業務の遂行にとって補助的な機能を有する行為

#### 【外国投資信託証券の保管】

第24条 受託者は、投資信託財産に属する外国投資信託証券を、当該信託にかかる外国投資信託証券の保護預り契約等に基づいて、当該契約の相手方に預託し保管させることができます。

#### 【混蔵寄託】

第25条 金融機関または金融商品取引業者（金融商品取引法第2条第9項に規定する金融商品取引業を行う者および外国の法令に準拠して設立された法人でこの者に類する者をいいます。以下本条において同じ。）から、売買代金および償還金等について円貨で約定し円貨で決済する取引により取得した外国において発行されたコマーシャル・ペーパーは、当該金融機関または金融商品取引業者が保管契約を締結した保管機関に当該金融機関または金融商品取引業者の名義で混蔵寄託することができます。

#### 【投資信託財産の登記等および記載等の留保等】

第26条 信託の登記または登録をすることができる投資信託財産については、信託の登記または登録をすることとします。ただし、受託者が認める場合は、信託の登記または登録を留保することができます。

- ② 前項ただし書きにかかわらず、受益者保護のために委託者または受託者が必要と認めるときは、速やかに登記または登録をすることとします。

③ 投資信託財産に属する旨の記載または記録をすることができる投資信託財産については、投資信託財産に属する旨の記載または記録をすることともに、その計算を明らかにする方法により分別して管理するものとします。ただし、受託者が認める場合は、その計算を明らかにする方法により分別して管理することができます。

④ 動産（金銭を除きます。）については、外形上区別することができる方法によるほか、その計算を明らかにする方法により分別して管理することができます。

#### 【有価証券売却等の指図】

第27条 委託者は、投資信託財産に属する有価証券の売却等の指図ができます。

#### 【再投資の指図】

第28条 委託者は、前条の規定による有価証券の売却代金、有価証券にかかる償還金等、有価証券等にかかる利子等およびその他の収入金を再投資することの指図ができます。

#### 【資金の借入れ】

第29条 委託者は、投資信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、一部解約に伴う支払資金の手当て（一部解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行わないものとします。

② 一部解約に伴う支払資金の手当てにかかる借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡り日までの間または受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から投資信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とし、資金借入額は当該有価証券等の売却代金、解約代金および償還金の合計額を限度とします。ただし、資金借入額は借入指図を行う日における投資信託財産の純資産総額の10%を超えないこととします。

③ 借入金の利息は投資信託財産中より支弁します。

#### 【損益の帰属】

第30条 委託者の指図に基づく行為により投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

#### 【受託者による資金の立替え】

第31条 投資信託財産に属する有価証券について、借替がある場合で、委託者の申出があるときは、受託者は資金の立替えをすることができます。

② 投資信託財産に属する有価証券にかかる償還金等、有価証券等にかかる利子等およびその他の未収入金で、信託終了日までにその金額を見積りうるものがあるときは、受託者がこれを立て替えて投資信託財産に繰り入れる

ことができます。

- ③ 前2項の立替金の決済および利息については、受託者と委託者との協議によりそのつど別にこれを定めます。

#### 【信託の計算期間】

第32条 この信託の計算期間は、毎年4月16日から10月15日および10月16日から翌年4月15日までとすることを原則とします。ただし、第1期計算期間は平成20年1月31日から平成20年10月15日までとします。

- ② 前項にかかわらず、前項の原則により各計算期間終了日に該当する日（以下、本条において「該当日」といいます。）が休業日のときは、各計算期間終了日は該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。ただし、最終計算期間の終了日は、第4条に定める信託期間の終了日とします。

#### 【投資信託財産に関する報告等】

第33条 受託者は、毎計算期末に損益計算を行い、投資信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。

- ② 受託者は、信託終了のときに最終計算を行い、投資信託財産に関する報告書を作成して、これを委託者に提出します。
- ③ 受託者は、前2項の報告を行うことにより、受益者に対する信託法第37条第3項に定める報告は行わないこととします。
- ④ 受益者は、受託者に対し、信託法第37条第2項に定める書類または電磁的記録の作成に欠くことのできない情報その他の信託に関する重要な情報および当該受益者以外の者の利益を害するおそれのない情報を除き、信託法第38条第1項に定める閲覧または謄写の請求をすることはできないものとします。

#### 【信託事務の諸費用および監査費用】

第34条 投資信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用、受託者の立て替えた立替金の利息ならびに投資信託財産の財務諸表の監査報酬および当該監査報酬にかかる消費税および地方消費税（以下「消費税等」といいます。）に相当する金額（以下「諸経費」といいます。）は、受益者の負担とし、投資信託財産中から支弁することができます。

- ② 委託者は、前項に定める信託事務の処理等に要する諸費用の支払いを投資信託財産のために行い、支払金額の支弁を投資信託財産から受けることができます。この場合委託者は、現に投資信託財産のために支払った金額の支弁を受けの際に、あらかじめ受領する金額に上限を付することができます。また、委託者は、実際に支払う金額の支弁を受ける代わりに、かかる諸費用の金額をあらかじめ合理的に見積ったうえで、実際の費用額にかかわらず固定率または固定金額にて投資信託財産からその支弁を受けることができます。
- ③ 前項において諸費用の上限、固定率または固定金額を定める場合、委託者は、投資信託財産の規模等を考慮して、信託の設定時または期中に、あらかじめ委託者が定めた範囲内

でかかる上限、固定率または固定金額を変更することができます。

- ④ 第2項において諸費用の固定率または固定金額を定める場合、かかる費用の額は、第32条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に応じて計算し、毎計算期末または信託終了のとき当該消費税等相当額とともに投資信託財産中より支弁します。

#### 【信託報酬の額および支弁の方法】

第35条 委託者および受託者の信託報酬の総額は、第32条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の114の率を乗じて得た額とします。

- ② 前項の信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき投資信託財産中から支弁するものとし、委託者と受託者との間の配分は別に定めます。
- ③ 第1項の信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支弁のときに、投資信託財産中から支弁します。

#### 【収益の分配方式】

第36条 投資信託財産から生ずる毎計算期末における利益は、次の方法により処理します。

1. 投資信託財産に属する配当等収益（配当金、利子およびこれ等に類する収益から支払利息を控除した額をいいます。以下同じ。）から、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除した後、その残額を受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配金にあてるため、その一部を分配準備積立金として積み立てることができます。
2. 売買損益に評価損益を加減して得た利益金額（以下「売買益」といいます。）は、諸経費、信託報酬および当該信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を控除し、繰越欠損金のあるときは、その全額を売買益をもって補てんした後、受益者に分配することができます。なお、次期以降の分配にあてるため、分配準備積立金として積み立てることができます。

- ② 毎計算期末において、投資信託財産につき生じた損失は、次期に繰り越します。

#### 【収益分配金、償還金および一部解約金の払込みと支払に関する受託者の免責】

第37条 受託者は、収益分配金については原則として第38条第1項に規定する支払開始日までに、償還金（信託終了時における投資信託財産の純資産総額を受益権口数で除した額をいいます。以下同じ。）については第38条第4項に規定する支払開始日までに、一部解約金については第38条第5項に規定する支払日までに、その全額を委託者の指定する預金口座等に払い込みます。

- ② 受託者は、前項の規定により委託者の指定する預金口座等に収益分配金、償還金および一部解約金を払い込んだ後は、受益者に対する支払いにつき、その責に任じません。

【収益分配金、償還金および一部解約金の支払い】

第38条 収益分配金は、毎計算期間終了日後1カ月以内の委託者の指定する日から、毎計算期間の末日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前において一部解約が行われた受益者にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため指定販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払います。

- ② 前項の規定にかかわらず、別に定める契約に基づいて収益分配金を再投資する受益者に対しては、受託者が委託者の指定する預金口座等に払い込むことにより、原則として毎計算期間終了日の翌営業日に、収益分配金が指定販売会社に交付されます。この場合、指定販売会社は、受益者に対し遅滞なく収益分配金の再投資にかかる受益権の取得の申込みに応じたものとします。なお、この場合における1口当たりの取得価額は原則として各計算期間終了日の基準価額とします。当該取得の申込みにより増加した受益権は、第10条第3項の規定にしたがい、振替口座簿に記載または記録されます。ただし、第40条第3項により投資信託契約の一部解約が行われた場合に、当該受益権に帰属する収益分配金があるときは、第1項の規定に準じて受益者に支払います。
- ③ 受益者が、あらかじめ前項の収益分配金の再投資にかかる受益権の取得申込みを中止することを申し出た場合においては、前項の規定にかかわらず、当該受益権に帰属する収益分配金を当該計算期間終了日から起算して5営業日目までに受益者に支払いを開始します。
- ④ 償還金は、信託終了日後1カ月以内の委託者の指定する日から、信託終了日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益者にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため指定販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とし、）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引換えに、当該償還にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。
- ⑤ 一部解約金は、原則として、受益者の一部解約の実行の請求を受け付けた日から起算して6営業日目（該当日が休業日の場合は翌営業日）に受益者へ支払います。
- ⑥ 前各項に規定する収益分配金、償還金および一部解約金の支払いは、指定販売会社の営業所等において行うものとします。

⑦ 収益分配金、償還金および一部解約金にかかる収益調整金は、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額等に応じて計算されるものとします。

⑧ 前項に規定する「収益調整金」は、所得税法施行令第27条の規定によるものとし、受益者ごとの信託時の受益権の価額と元本の差額をいい、原則として、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。また、前項に規定する「受益者ごとの信託時の受益権の価額等」とは、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。

【収益分配金および償還金の時効】

第39条 受益者が、収益分配金について第38条第1項に規定する支払開始日から5年間その支払いを請求しないとき、ならびに信託終了による償還金について第38条第4項に規定する支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、受託者から交付を受けた金銭は、委託者に帰属します。

【投資信託契約の一部解約】

第40条 受益者（指定販売会社を含みます。以下、本条において同じ。）は、自己に帰属する受益権につき、委託者に、指定販売会社が個別に定める口数および申込単位をもって一部解約の実行を請求することができます。ただし、一部解約の実行の請求日が別に定める日に該当する場合は、当該一部解約の実行の請求を受け付けられないものとします。

② 受益者が、前項の一部解約の実行の請求をするときは、指定販売会社に対し振替受益権をもって行うものとします。

③ 委託者は、第1項の一部解約の実行の請求を受け付けた場合には、この投資信託契約の一部を解約します。なお、第1項の一部解約の実行の請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の請求にかかるこの投資信託契約の一部解約を委託者が行うのと引換えに、当該一部解約にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

④ 第3項の一部解約の価額は、原則として、一部解約の実行の請求を受け付けた日の翌営業日の基準価額から当該基準価額に0.2%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した価額とします。

⑤ 委託者は、当該一部解約の請求受付日の一部解約の実行の請求の総額が多額である場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託者が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、外国投資証券の払戻しにおける制限事項等の影響を受ける場合その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な

政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。)があるときは、一部解約の実行の請求の受け付けを制限または中止することおよびすでに受け付けた申込みを取り消すことができます。

- ⑥ 前項により一部解約の実行の請求の受け付けが中止された場合には、受益者は当該受付中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。ただし、受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の一部解約の価額は、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に一部解約の実行の請求を受け付けたものとし、第4項の規定に準じて算出した価額とします。

#### 【質権口記載または記録の受益権の取扱い】

第41条 振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、一部解約の実行の請求の受け付け、一部解約金および償還金の支払等については、この投資信託約款によるほか、民法その他の法令等にしたがって取り扱われます。

#### 【投資信託契約の解約】

第42条 委託者は、信託期間中、次の場合に該当することとなった場合、受託者と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

1. 投資信託契約を解約することが受益者に有利であると認めるとき
  2. やむを得ない事情が発生したとき
  3. 投資信託契約の一部を解約することにより、受益権口数に基準価額を乗じた純資産総額が10億円を下回ることとなったとき
- ② 委託者は、前項の規定にかかわらず、この信託が投資対象とする投資信託証券にかかる投資信託が繰上償還することとなる場合または投資法人が解散することとなる場合は、受託者と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができるものとします(別に定める指定投資信託証券に規定する投資信託証券で代替する場合を除きます。)。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。
- ③ 委託者は、第1項の事項について、書面による決議(以下「書面決議」といいます。)を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに投資信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この投資信託契約にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ④ 前項の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受

益者としての受託者を除きます。以下、本項において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使うことができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。

- ⑤ 第3項の書面決議は議決権を行行使うことができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑥ 第3項から前項までの規定は、委託者が投資信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また、第1項または第2項の規定に基づいてこの投資信託契約を解約する場合であっても、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合には適用しません。

#### 【投資信託約款の変更等】

第43条 委託者は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託者と合意のうえ、この投資信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合(投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。)を行うことができるものとし、あらかじめ、変更または併合しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。なお、この投資信託約款は本条に定める以外の方法によって変更することができないものとします。

- ② 委託者は、前項の事項(前項の変更事項にあつては、その内容が重大なものに該当する場合に限ります。以下、併合と合わせて「重大な投資信託約款の変更等」といいます。)について、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに重大な投資信託約款の変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、この投資信託約款にかかる知れている受益者に対し、書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を發します。
- ③ 前項の書面決議において、受益者(委託者およびこの信託の投資信託財産にこの信託の受益権が属するときの当該受益権にかかる受益者としての受託者を除きます。以下、本項において同じ。)は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使うことができます。なお、知れている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れている受益者は書面決議について賛成するものとみなします。
- ④ 第2項の書面決議は議決権を行行使うことができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- ⑤ 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。
- ⑥ 第2項から前項までの規定は、委託者が重



大な投資信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。

- ⑦ 前各項の規定にかかわらず、この投資信託において併合の書面決議が可決された場合であっても、当該併合にかかる一または複数の他の投資信託において当該併合の書面決議が否決された場合は、当該他の投資信託との併合を行うことはできません。

**【投資信託契約に関する監督官庁の命令】**

第44条 委託者は、監督官庁よりこの投資信託契約の解約の命令を受けたときは、その命令にしたがい、投資信託契約を解約し信託を終了させます。

- ② 委託者は、監督官庁の命令に基づいてこの投資信託約款を変更しようとするときは、第43条の規定にしたがいます。

**【委託者の登録取消等に伴う取扱い】**

第45条 委託者が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したときは、委託者は、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

- ② 前項の規定にかかわらず、監督官庁がこの投資信託契約に関する委託者の業務を他の投資信託委託業者に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、第43条第2項の書面決議で否決された場合を除き、当該投資信託委託業者と受託者との間において存続します。

**【反対者の買取請求権】**

第46条 第42条に規定する投資信託契約の解約または第43条に規定する重大な投資信託約款の変更等を行う場合には、書面決議において当該解約または重大な投資信託約款の変更等に反対した受益者は、指定販売会社を通じ受託者に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。この買取請求権の内容および買取請求の手續に関する事項は、第42条第3項または第43条第2項に規定する書面に付記します。

- ② 前項の場合の取扱いは、受託者、委託者および指定販売会社が協議のうえ、決定するものとします。

**【他の受益者の氏名等の開示の請求の制限】**

第47条 この信託の受益者は、委託者または受託者に対し、次に掲げる事項の開示の請求を行うことはできません。

1. 他の受益者の氏名または名称および住所
2. 他の受益者が有する受益権の内容

**【委託者の事業の譲渡および承継に伴う取扱い】**

第48条 委託者は、事業の全部または一部を譲渡することがあり、これに伴い、この投資信託契約に関する事業を譲渡することがあります。

- ② 委託者は、分割により事業の全部または一部を承継させることがあり、これに伴い、この投資信託契約に関する事業を承継させることがあります。

**【受託者の辞任および解任に伴う取扱い】**

第49条 受託者は、委託者の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託者がその任務に違反して投資信託財産に著しい損害を与えたことその他重要な事由があるときは、委託者または受益者は、裁判所に受託者の解任を申し立てることができます。受託者が辞任した場合、または裁判所が受託者を解任した場合、委託者は、第43条の規定にしたがい、新受託者を選任します。なお、受益者は、上記によって行う場合を除き、受託者を解任することはできないものとします。

- ② 委託者が新受託者を選任できないときは、委託者はこの投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

**【公告】**

第50条 委託者が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

**【投資信託約款に関する疑義の取扱い】**

第51条 この投資信託約款の解釈について疑義を生じたときは、委託者と受託者との協議により定めます。

上記条項により投資信託契約を締結します。

平成20年 1月31日（投資信託契約締結日）

委託者 東京都中央区日本橋兜町5番1号  
ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社

受託者 東京都千代田区大手町一丁目1番2号  
りそな信託銀行株式会社

付 表

**I. 別に定める指定投資信託証券**

投資信託約款第16条、第42条第2項および別に定める運用の基本方針における「別に定める指定投資信託証券」とは次の投資信託の受益証券または投資法人の投資証券（振替受益権または振替投資口を含み、以下「投資信託証券」といいます。）をいいます。

1. 外国投資法人

「オーシャン・ファンド・エクイティーズ  
MENA オポチュニティーズ」  
(Ocean Fund Equities MENA Opportunities)

2. 外国投資法人

「SGAM オアシス・ミドル・イースト・アンド・ノース・アフリカ・ファンド」  
(SGAM Oasis Middle East & North Africa Fund)

3. 外国投資法人

「SGAM Fund マネー マーケット (USD)」  
(SGAM Fund Money Market (USD))

**II. 別に定める日**

投資信託約款第12条第2項および第40条第1項に規定する「別に定める日」とは、次のものをいいます。

1. 取得申込受付日または一部解約の実行の請求受付日がルクセンブルクの銀行休業日に当たる場合の当該受付日

アムンディ・アラブ株式ファンド

投資信託説明書  
(請求目論見書)

2010.07

# アムンディ・アラブ株式ファンド

追加型投信／海外／株式



このファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

**Amundi**

ASSET MANAGEMENT  
アムンディ アセットマネジメント

**アムンディ・ジャパン株式会社**

1. 「アムンディ・アラブ株式ファンド」の募集については、委託会社は金融商品取引法（昭和23年法第25号）第5条の規定に基づく有価証券届出書を平成22年1月15日に関東財務局長に提出しており、平成22年1月16日にその届出の効力が生じております。また、同法第7条の規定により有価証券届出書の訂正届出書を平成22年4月30日および平成22年7月1日に関東財務局長に提出しております。
2. この投資信託説明書（請求目論見書）は、金融商品取引法第13条の規定にもとづく目論見書のうち、同法第15条第3項の規定に基づき、投資家の請求により交付される目論見書です。
3. 「アムンディ・アラブ株式ファンド」の価額は、ファンドに組み入れられる有価証券等の値動き、為替相場の変動等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。ファンドは元本が保証されているものではありません。

#### <お知らせ>

委託会社は、平成22年7月1日付で、商号を「ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社」から「アムンディ・ジャパン株式会社」に、ファンド名を「SG アラブ株式ファンド」から「アムンディ・アラブ株式ファンド」に変更いたしました。

なお、同日以前の記載内容につきましては、変更前の委託会社の商号およびファンド名を使用しております。

## 有価証券届出書の表紙記載項目

有価証券届出書提出日	平成22年1月15日
発行者名	アムンディ・ジャパン株式会社
代表者の役職氏名	代表取締役社長 クリスチャン・ロメイヤー
本店の所在の場所	東京都千代田区内幸町一丁目2番2号

## 届出の対象とした募集

募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称	アムンディ・アラブ株式ファンド
募集内国投資信託受益証券の金額	継続募集額：上限 3,000億円
有価証券届出書の写しを縦覧に供する場所	該当事項はありません

## 目次

第1 ファンドの沿革	1
第2 手続等	1
1 申込（販売）手続等	1
2 換金（解約）手続等	2
第3 管理及び運営	4
1 資産管理等の概要	4
2 受益者の権利等	8
第4 ファンドの経理状況	9
1 財務諸表	12
2 ファンドの現況	30
第5 設定及び解約の実績	30

## 第1 ファンドの沿革

平成20年1月31日 ファンドの投資信託契約締結、ファンドの設定・運用開始

平成22年7月1日 ファンドの名称を「SG アラブ株式ファンド」から「アムンディ・アラブ株式ファンド」に変更

## 第2 手続等

### 1 申込（販売）手続等

- (1) 販売会社は、申込期間中の販売会社の営業日において、ファンドの募集・販売の取扱いを行います。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日の場合のお申込みは受け付けません。ファンドの取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、販売会社に対しファンドの取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。取得申込みの受付は、販売会社所定の時限までとし、受付時間を過ぎた場合は翌営業日の取扱いとします。なお、販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引き換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。委託会社は、追加信託により分割された受益権について、振替機関等の振替口座簿への新たな記載または記録をするため社振法に定める事項の振替機関への通知を行うものとし、振替機関等は、委託会社から振替機関への通知があった場合、社振法の規定にしたがい、その備える振替口座簿への新たな記載または記録を行います。受託会社は、追加信託により生じた受益権については追加信託のつど、振替機関の定める方法により、振替機関へ当該受益権にかかる信託を設定した旨の通知を行います。
- (2) ファンドの価額は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。基準価額は、委託会社の毎営業日に計算され、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 :フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先:ホームページアドレス:[www.amundi.co.jp](http://www.amundi.co.jp)

- (3) 最低申込口数および申込単位は販売会社が定める単位とします。また、収益分配金の受取方法により、「分配金受取りコース」と「分配金再投資コース」\*があります。

各申込コースとも、販売会社によって名称が異なる場合があります。詳細は販売会社へお問い合わせください。

\* 「分配金再投資コース」とは、収益分配金を税引き後無手数料で自動的に再投資するコースのことをいいます。

また、販売会社により「定時定額購入コース（販売会社により名称が異なる場合があ

ります。詳しくは販売会社（販売会社については、前記(2)のお問い合わせ先にご照会ください。）へお問い合わせください。」等を取り扱う場合があります。詳しくは販売会社へお問い合わせください。

- (4) 取得申込時には申込手数料をご負担いただくものとします。ただし、「分配金再投資コース」において収益分配金を再投資する場合には、申込手数料はありません。
- (5) 委託会社は、取得申込総額が多額な場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情（投資対象国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。）があるときは、委託会社の判断により、ファンドの取得申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた取得申込みの受け付けを取り消すことができます。

## 2 換金（解約）手続等

- (1) 換金の請求を行う受益者（販売会社を含みます。）は、自己に帰属する受益権につき、販売会社の営業日において、販売会社が定める解約単位をもって一部解約の実行の請求（以下、「解約請求」といいます。）を行うことで換金ができます。解約請求は、振替受益権をもって行うものとします。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日の場合の解約請求の申込みは受け付けません。

解約請求を行う受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して当該受益者の解約請求にかかるこの投資信託契約の一部解約の実行を委託会社が行うのと引換えに、当該解約請求にかかる受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

解約請求の申込みの受け付けは、販売会社所定の時限までとし、受付時間を過ぎた場合は翌営業日の取扱いとします。解約請求に関する詳細については販売会社にお問い合わせください。

- (2) 解約の価額は、解約請求の申込みを受け付けた日の翌営業日の基準価額から、当該基準価額に0.2%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した価額とします。なお解約代金は、解約受益者の解約請求を受け付けた日から起算して、原則として、6営業日目から受益者に支払います。なお、換金（解約）手数料はありません。

解約価額＝ 基準価額－ 信託財産留保額＝ 基準価額－（基準価額×0.2%）

- (3) 受益者が、換金にかかる解約請求の申込みをするときは、販売会社に対し、振替受益権をもって行うものとします。
- (4) 委託会社は、解約請求を受け付けた場合には、この投資信託契約の一部を解約します。
- (5) 委託会社は、解約請求申込受付日の一部解約の実行の請求の総額が多額である場合、投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、または金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、外国投資証券の払戻しにおける制限事項等の影響を受ける場合その他やむを得ない事情（投資対象

国における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、石油産出施設の大規模な破壊、戦争等）による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等を含みます。）があるときは、解約請求の受け付けを制限または中止すること、およびすでに受け付けた請求を取り消すことができます。このほか、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間において、解約請求申込みの受付を行わないことがあります。

- (6) 前記(5)により投資信託契約の一部解約の実行が中止された場合には、受益者は当該一部解約の実行の中止以前に行った当日の一部解約の実行の請求を撤回できます。受益者がその一部解約の実行の請求を撤回しない場合には、当該受益権の解約価額は、当該一部解約の実行の中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとして前記(2)の規定に準じて算出した価額とします。
- (7) 一部解約金は、受益者の請求を受け付けた日から起算して、原則として、6営業日目から受益者に支払います。

**<ラマダン・犠牲祭等による休日に該当する場合の取扱い>**

ファンドが主に実質的に投資する中東・北アフリカ諸国では、イスラム教の重要な祭日であるラマダン明け祭および犠牲祭等の期間に金融商品市場が数日間休場となる可能性があります。投資対象各国の金融商品市場の休場日が集中した場合にも、委託会社の判断により、ファンドの取得・解約のお申込みの受け付けを中止すること、あるいは、すでに受け付けた取得・解約のお申込みの受け付けを取り消すことがあります。



### 第3 管理及び運営

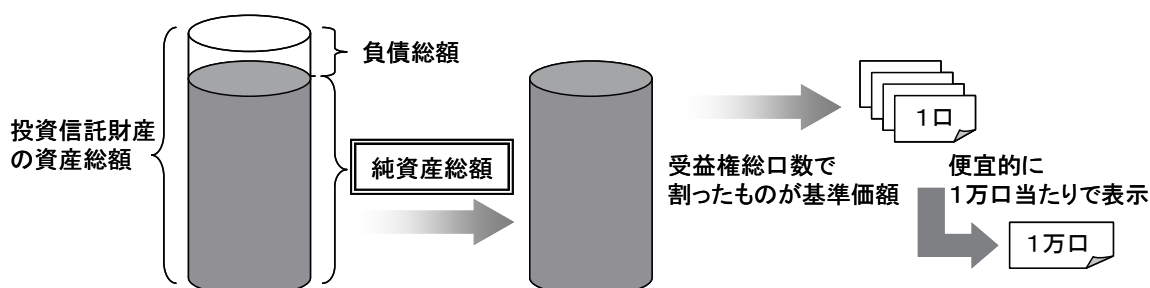
#### 1 資産管理等の概要

##### (1) 資産の評価

###### ① 基準価額の算定

基準価額とは、投資信託財産に属する資産を法令および社団法人投資信託協会規則にしたがって時価評価して得た投資信託財産の資産総額から負債総額を控除した金額（「純資産総額」といいます。）を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。

なお、外貨建資産（外国通貨表示の有価証券（以下、「外貨建有価証券」といいます。）預金その他の資産をいいます。以下同じ。）の円換算については、原則として、わが国における当日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算します。また予約為替の評価は、原則として、わが国における計算の対顧客先物売買相場の仲値によるものとします。



###### ② 基準価額の算出頻度と公表

基準価額は、委託会社によって毎営業日計算され、販売会社または委託会社に問い合わせることにより知ることができます。

お問い合わせは

**アムンディ・ジャパン株式会社** まで

お電話によるお問い合わせ先 : フリーダイヤル(コールセンター)0120-498-104

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

インターネットでのお問い合わせ先: ホームページアドレス: [www.amundi.co.jp](http://www.amundi.co.jp)

また基準価額は原則として、計算日の翌日の日本経済新聞に掲載されます。（朝刊のオープン基準価格欄 [アムンディ] にて「アラブ株」の略称で掲載されます。）なお、基準価額は1万口当たりで表示されます。

###### ③ 追加信託金の計算方法

追加信託金は、追加信託を行う日の前営業日の基準価額に、当日の追加信託される受益権の口数を乗じて得た額とします。

収益分配金、償還金および一部解約金にかかる収益調整金<sup>※1</sup>は、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額等<sup>※2</sup>に応じて計算されるものとします。

※1「収益調整金」とは、所得税法施行令第27条の規定によるものとし、受益者ごとの信託時の受益権の価額と元本との差額をいい、原則として、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。

※2「受益者ごとの信託時の受益権の価額等」とは、原則として、受益者ごとの信託時の受益権の価額をいい、追加信託のつど当該口数により加重平均され、収益分配のつど調整されるものとします。

## (2) 保管

保管に関する該当事項はありません。

## (3) 信託期間

ファンドの信託期間は、原則として無期限です。

ただし信託期間中に「(5) その他 ⑥ 信託の終了」に該当する事項が生じた場合には、委託会社は受託会社と合意のうえ、一定の適切な措置を講じた後に、この投資信託契約を終了させることができます。詳細は「(5) その他 ⑥ 信託の終了」をご覧ください。

## (4) 計算期間

- ① この信託の計算期間は、原則として毎年4月16日から10月15日まで、10月16日から翌年4月15日までとします。
- ② 前記①にかかわらず、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日の翌営業日とし、その翌日より次の計算期間が開始されるものとします。

## (5) その他

### ① 償還金

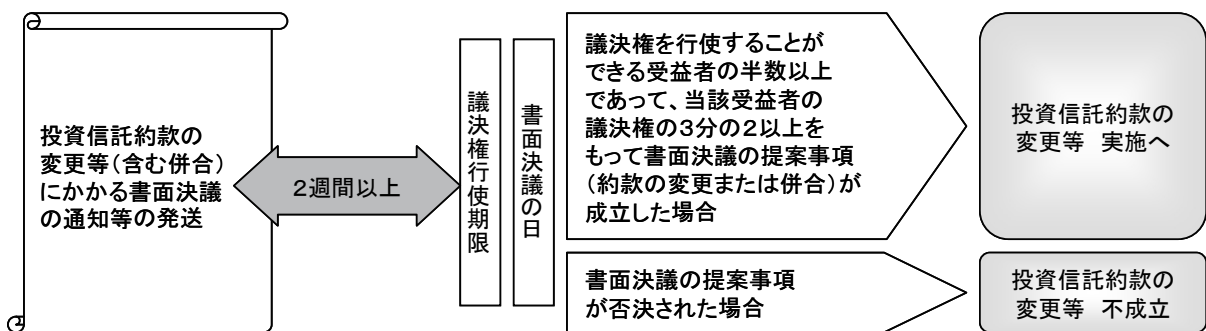
償還金は、信託終了日から後1カ月以内の委託会社の指定する日から、信託終了日において振替機関の振替口座簿に記載または記録されている受益者（信託終了日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該信託終了日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に支払います。なお、当該受益者は、その口座が開設されている振替機関等に対して委託者がこの信託の償還をするのと引き換えに、当該償還に係る受益権の口数と同口数の抹消の申請を行うものとし、社振法の規定にしたがい当該振替機関等の口座において当該口数の減少の記載または記録が行われます。

### ② 投資信託約款の変更等

- (イ) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、この投資信託約款を変更することまたはこの信託と他の信託との併合（投資信託及び投資法人に関する法律第16条第2号に規定する「委託者指図型投資信託の併合」をいいます。以下同じ。）を行うことができるものとし、あらかじめ、変更しようとする旨およびその内容を監督官庁に届け出ます。
- (ロ) 委託会社は、(イ)の変更事項のうち、その内容が重大なものについて書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに変更等の内容およびその理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、これらの事項を記載した書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を受益者に発します。受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知れて

いる受益者は書面決議について賛成するものとみなす旨を定めています。

- (ハ) (ロ) の書面決議は議決権を行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。
- (ニ) 書面決議の効力は、この信託のすべての受益権に対してその効力を生じます。
- (ホ) (ロ) から (ニ) の手続は、委託会社が重大な投資信託約款の変更等について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託約款にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。
- (ヘ) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの投資信託約款を変更しようとするときは、(イ) から (ハ) の規定にしたがいます。
- (ト) (ハ) の一定の期間内に委託会社に対して異議を述べた受益者は、販売会社を通じて受託会社に対し、自己に帰属する受益権を、投資信託財産をもって買い取るべき旨を請求することができます。



### ③ 関係法人との契約の更改等に関する手続

委託会社と販売会社の間で締結する販売契約において、当該契約書において定められた事項に変更の必要があると認められた場合、疑義を生じた場合、または当該契約に定めのない事項が生じたときは、その都度、委託会社と販売会社が協議のうえ、決定します。また、有効期間は当初1カ年とし、期間満了の3カ月前までに委託会社および販売会社のいずれからも別段の意思表示のない時は、自動的に1年間延長されるものとし、自動延長後の取扱いについてもこれと同様とします。

### ④ 受託会社の辞任および解任に伴う取扱い

受託会社は、委託会社の承諾を受けてその任務を辞任することができます。受託会社はその任務にそむいた場合、その他重要な事由が生じたときは、委託会社または受益者は、裁判所に受託会社の解任を請求することができます。受託会社が辞任した場合、委託会社は、前記「② 投資信託約款の変更」の(イ)から(ニ)の規定にしたがって、新受託会社を選任します。

### ⑤ 運用報告書の作成

委託会社は、毎年4月および10月の計算期間の終了後および償還時に、当該期間の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成し、販売会社より送付します。

⑥ 信託の終了（投資信託契約の解約）

(イ) 委託会社は、次の場合においては、受託会社と合意のうえ、この投資信託契約を解約し、信託を終了させることができます。この場合において、委託会社は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

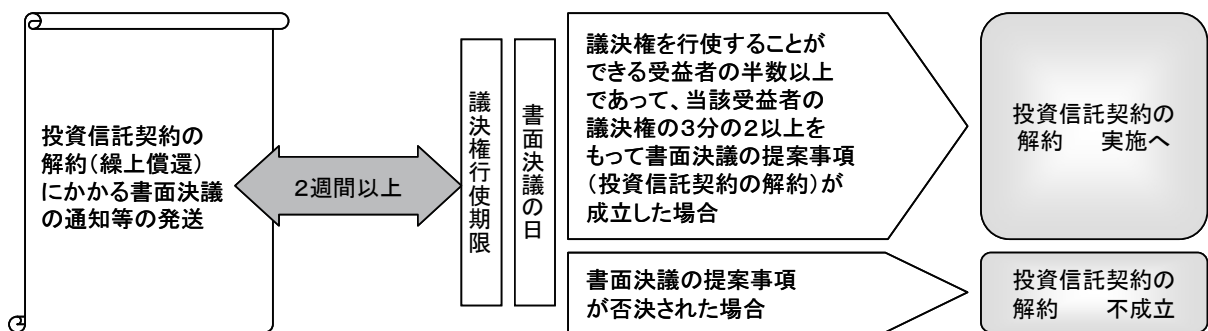
- A. 投資信託契約を解約することが受益者に有利であると認めるとき
- B. やむを得ない事情が発生したとき
- C. 投資信託契約の一部を解約することにより、受益権総口数に基準価額を乗じて得られる純資産総額が10億円を下回ることとなった場合
- D. AからCにかかわらず、ファンドが投資対象とする投資信託証券にかかる投資信託が繰上償還することとなる場合または投資法人が解散することとなる場合

委託会社は、前述の事項AからCについて、書面決議を行います。この場合において、あらかじめ、書面決議の日ならびに投資信託契約の解約の理由などの事項を定め、当該決議の日の2週間前までに、これらの事項を記載した書面をもってこれらの事項を記載した書面決議の通知を受益者に発します。受益者は受益権の口数に応じて、議決権を有し、これを行行使することができます。なお、知っている受益者が議決権を行行使しないときは、当該知っている受益者は書面決議について賛成するものとみなす旨を定めています。

(ロ) (イ) の書面決議は議決権を行行使することができる受益者の半数以上であって、当該受益者の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行います。

(ハ) 書面決議の効力は、この信託のすべての受益者に対してその効力を生じます。

(ニ) (イ) から (ハ) の手続は、委託会社が投資信託契約の解約について提案をした場合において、当該提案につき、この投資信託契約にかかるすべての受益者が書面または電磁的記録により同意の意思表示をしたときには適用しません。また (イ) のAからDにより投資信託契約を解約する場合であっても、投資信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合には適用しません。



(ホ) 委託会社は、次の場合においては、この投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

- A. 委託会社が解散したとき、または業務を廃止したとき
- B. 委託会社が監督官庁より登録の取消しを受けたとき
- C. 監督官庁から投資信託契約の解約の命令を受けたとき

※BまたはCにおいて、監督官庁がこの投資信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じたときは、この信託は、前記「② 投資信託約款

の変更等」の書面決議出で提案事項を否決された場合を除き、委託会社と受託会社との間において存続します。

(へ) 前記「④ 受託会社の辞任および解任に伴う取扱い」において委託会社が新受託会社を選任できないときは、委託会社はこの投資信託契約を解約し、信託を終了させます。

#### ⑦ その他

(イ) 委託会社が受益者に対してする公告は、日本経済新聞に掲載します。

(ロ) ファンドについて、法令の定めるところにより、有価証券報告書を毎年4月および10月の計算期間の終了後3カ月以内に提出します。また、これらの開示書類は、金融庁の電子開示システム（EDINET）によって提出されており、同庁が提供するホームページ（<http://info.edinet-fsa.go.jp/>）にて閲覧することができます。

(ハ) 受託会社は、ファンドにかかる信託事務の処理の一部について日本トラスティ・サービス信託銀行と再信託契約を締結し、これを委託することがあります。その場合には、再信託にかかる契約書類に基づいて所定の事務を行います。

## 2 受益者の権利等

### (1) 収益分配金請求権

受益者は、委託会社の決定した収益分配金を、持分に応じて請求することができます。

収益分配金は、決算日において振替機関等の振替口座簿に記載または記録されている受益者（当該収益分配金にかかる決算日以前において一部解約が行われた受益権にかかる受益者を除きます。また、当該収益分配金にかかる計算期間の末日以前に設定された受益権で取得申込代金支払前のため販売会社の名義で記載または記録されている受益権については原則として取得申込者とします。）に、原則として決算日から起算して5営業日目までにお支払いします。なお、「分配金受取りコース」の受益者が支払開始日から5年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、これに相当する金銭は委託会社に帰属します。

「分配金再投資コース」をお申込みの場合は、収益分配金は税引き後無手数料で自動的に再投資されますが、再投資により増加した受益権は、振替口座簿に記載または記録されます。なお、収益分配金の再投資は、毎計算期間終了日の基準価額にて、その翌営業日に収益分配金の手取額をもって、ファンドの買付けを自動的に行います。

### (2) 一部解約の実行請求権

受益者は、一部解約の実行を投資信託約款の規定および本書の記載にしたがって請求することができます。

### (3) 償還金請求権

受益者は償還金を投資信託約款の規定および本書の記載にしたがって請求することができます。ただし、受益者が支払開始日から10年間その支払いを請求しないときは、その権利を失い、これに相当する金銭は委託会社に帰属します。

### (4) 帳簿閲覧権

受益者は委託会社に対し、委託会社の営業時間内において、当該受益者にかかる投資信託財産に関する書類の閲覧を請求することができます。

#### 第4 ファンドの経理状況

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）（以下「財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表等規則は、平成20年8月7日付内閣府令第50号により改正されておりますが、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）については同内閣府令附則第2条第1項第1号により、改正前の財務諸表等規則に基づき作成しており、第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）については改正後の財務諸表等規則に基づいて作成しております。

また、投資信託財産計算規則は、平成21年6月24日付内閣府令第35号により改正されておりますが、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）については同内閣府令附則第16条第2項により、改正前の投資信託財産計算規則に基づき作成しており、第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）については改正後の投資信託財産計算規則に基づいて作成しております。

なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3期計算期間（平成21年4月16日から平成21年10月15日まで）及び第4期計算期間（平成21年10月16日から平成22年4月15日まで）の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

# 独立監査人の監査報告書

平成21年12月4日

ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人


指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

岩部 俊夫 

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

亀井 純子 

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSG アラブ株式ファンドの平成21年4月16日から平成21年10月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SG アラブ株式ファンドの平成21年10月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 独立監査人の監査報告書

平成22年6月1日

ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社  
取締役会 御中

## 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

岩部 俊夫 

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

亀井 純子 

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているSG アラブ株式ファンドの平成21年10月16日から平成22年4月15日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。この財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SG アラブ株式ファンドの平成22年4月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

ソシエテジェネラルアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



# 1 財務諸表

## SG アラブ株式ファンド

### (1) 貸借対照表

(単位：円)

科 目	期 別	第3期 (平成21年10月15日現在)	第4期 (平成22年4月15日現在)
		金 額	金 額
資産の部			
流動資産			
預金		1,789,730	1,868,758
コール・ローン		315,498,816	387,776,941
投資証券		10,758,345,121	8,410,475,779
未収利息		432	531
流動資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009
資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		723,750	101,000
未払解約金		124,404,417	94,447,221
未払受託者報酬		2,397,346	1,876,353
未払委託者報酬		65,926,984	51,599,598
その他未払費用		6,077,683	2,214,344
流動負債合計		199,530,180	150,238,516
負債合計		199,530,180	150,238,516
純資産の部			
元本等			
元本		20,541,823,101	15,406,497,700
剰余金			
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△9,665,719,182	△6,756,614,207
(分配準備積立金)		87,831	169,143
元本等合計		10,876,103,919	8,649,883,493
純資産合計		10,876,103,919	8,649,883,493
負債純資産合計		11,075,634,099	8,800,122,009

## (2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

科 目	期 別	第3期	第4期
		自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
		金 額	金 額
営業収益			
受取利息		87,921	60,622
有価証券売買等損益		3,241,354,726	2,773,881
為替差損益		△891,359,183	363,602,487
営業収益合計		2,350,083,464	366,436,990
営業費用			
受託者報酬		2,397,346	1,876,353
委託者報酬		65,926,984	51,599,598
その他費用		6,389,696	2,492,985
営業費用合計		74,714,026	55,968,936
営業利益		2,275,369,438	310,468,054
経常利益		2,275,369,438	310,468,054
当期純利益		2,275,369,438	310,468,054
一部解約に伴う当期純利益金額の 分配額又は一部解約に伴う当期純 損失金額の分配額 (△)		417,631,932	△189,615,457
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△14,165,919,146	△9,665,719,182
剰余金増加額又は欠損金減少額		3,932,991,569	2,842,462,889
当期一部解約に伴う剰余金増加 額又は欠損金減少額		3,932,991,569	2,842,462,889
剰余金減少額又は欠損金増加額		1,290,529,111	433,441,425
当期追加信託に伴う剰余金減少 額又は欠損金増加額		1,290,529,111	433,441,425
分配金		—	—
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△9,665,719,182	△6,756,614,207

### (3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別 項 目	第3期	第4期
	自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
1. 運用資産の評価基準及び評価方法	(1) 投資証券 基準価額で評価しております。 (2) 外国為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。	(1) 投資証券 同左 (2) 外国為替予約取引 同左
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。	同左
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 同左
4. その他	当ファンドの計算期間は平成21年4月16日から平成21年10月15日までとなっております。	当ファンドの計算期間は平成21年10月16日から平成22年4月15日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第3期 (平成21年10月15日現在)	第4期 (平成22年4月15日現在)
1. 計算期間の末日における受益権の総数 20,541,823,101口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 15,406,497,700口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 9,665,719,182円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 6,756,614,207円
3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.5295円 (10,000口当たり純資産額 5,295円)	3. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.5614円 (10,000口当たり純資産額 5,614円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
分配金の計算過程 該当事項はありません。	分配金の計算過程 該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

期 別	第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
項 目		
1. 金融商品に対する取組方針	—	当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、その取扱いについては、信託約款の定めに従うとともに、有価証券等の金融商品に対して、投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	—	<p>(1) 金融商品の内容</p> <p>①有価証券 （その他の注記）2. 有価証券関係に記載しております。</p> <p>②デリバティブ取引 当ファンドが利用しているデリバティブ取引は為替予約取引であります。</p> <p>③コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>(2) 金融商品に係るリスク</p> <p>①有価証券 有価証券に関しては、次のリスクが存在しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 価格変動リスク</li> <li>・ 信用リスク</li> <li>・ 流動性リスク</li> <li>・ カントリーリスク</li> <li>・ 為替変動リスク</li> </ul> <p>②デリバティブ取引 為替予約取引に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。</p>

<p>3. 金融商品に関するリスク管理体制</p>	<p>—</p>	<p>委託会社において、独立した投資リスク管理に関する委員会を設けており、当該委員会でパフォーマンスの分析及び投資リスクの管理を行っております。パフォーマンスの分析では、月次でファンドの特性をふまえたパフォーマンス評価及び検討を行っております。また、投資リスクの管理においては、運用部門から独立した運用審査部が信託約款等の遵守状況、市場リスク、信用リスク及び流動性リスク等をモニターしており、委員会において報告されております。</p> <p>①市場リスクの管理</p> <p>価格変動リスク及び為替変動リスクについては、ポートフォリオにおけるリスクとファンドの商品特性に照らして想定されるリスクとの比較分析を行っております。</p> <p>②信用リスク、カントリーリスク及び流動性リスクの管理</p> <p>格付その他発行体等に関する情報を収集・分析のうえ、ファンドの商品特性に照らして組入銘柄の信用リスク、カントリーリスクを管理しております。また、市場流動性の状況を把握し、流動性リスクを管理しております。</p>
<p>4. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明</p>	<p>—</p>	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。また、「(その他の注記) 3. デリバティブ取引関係」におけるデリバティブ取引に関する契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。</p>

2. 金融商品の時価等に関する事項

期 別 項 目	第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
1. 貸借対照表計上額、 時価及びその差額	—	当ファンドの保有する金融商品は原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	—	①有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しているため省略しております。 ②デリバティブ取引 (その他の注記) 3. デリバティブ取引 関係に記載しているため省略しております。 ③コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によつています。

(関連当事者との取引に関する注記)

第3期 (自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日)

関係	会社等の 名称	関係内容	取引の内容	取引金額 (円)	科目	期末残高 (円)
委託会社の 親会社の子 会社	European FundServices S. A.	投資証券の売 付、買付の取 り扱い等	投資証券の 売付額	2,291,589,988	—	—
			投資証券の 買付額	192,020,000	—	—

第4期 (自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日)

関係	会社等の 名称	関係内容	取引の内容	取引金額 (円)	科目	期末残高 (円)
委託会社の 親会社の子 会社	European FundServices S. A.	投資証券の売 付、買付の取 り扱い等	投資証券の 売付額	2,730,709,981	—	—

(注) 投資証券の売付・買付価格は、公正価格により決定しております。

(重要な後発事象に関する注記)

第3期 (自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日)

該当事項はありません。

第4期 (自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日)

該当事項はありません。

(その他の注記)

1. 元本の移動

第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日		第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日	
期首元本額	24,899,183,395円	期首元本額	20,541,823,101円
期中追加設定元本額	2,613,326,110円	期中追加設定元本額	900,677,963円
期中一部解約元本額	6,970,686,404円	期中一部解約元本額	6,036,003,364円

2. 有価証券関係

売買目的有価証券の貸借対照表計上額等

種 類	第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	
	貸借対照表計上額(円)	損益に含まれた 評価差額(円)
投 資 証 券	10,758,345,121	2,852,381,607
合 計	10,758,345,121	2,852,381,607

種 類	第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日	
	損益に含まれた評価差額(円)	
投 資 証 券	192,862,837	
合 計	192,862,837	



### 3. デリバティブ取引関係

#### 1. 取引の状況に関する事項

第3期 自 平成21年 4月16日 至 平成21年10月15日	第4期 自 平成21年10月16日 至 平成22年 4月15日
<p>1. 取引の内容 当ファンドが利用しているデリバティブ取引は為替予約であります。</p> <p>2. 取引に対する取り組み方針と利用目的 当ファンドは、外貨建て有価証券の売買の決済等に必要となる外貨の売買のために、その受渡までが数日間の為替予約取引を利用しております。当ファンドでは、投機を目的とする為替予約取引は行わない方針です。</p> <p>3. 取引に係るリスクの内容 為替予約取引等に係る主要なリスクは、為替相場の変動による価格変動リスク及び取引相手の信用状況の変化により損失が発生する信用リスクであります。</p> <p>4. 取引に係るリスクの管理体制 当ファンドにおけるデリバティブ取引の管理については、取引限度額等を定めた投資信託約款に従い、トレーディング部が運用担当者の指図のもと行っています。また、取引の相手先については、当社のクレジット委員会によって承認された金融機関のみとなっています。取引についても、信託約款に定められた適切な水準を保っているか等を運用部門から独立した運用審査部がモニターし、異常な水準に達しそうな場合、または達した場合は、注意・警告を発生し、適切な対応を促すとともに重要な案件については当社のリスク・コンプライアンス委員会で報告されます。</p>	—

#### 2. 取引の時価等に関する事項

##### 通貨関連

区分	種類	第3期 (平成21年10月15日現在)			
		契約額等(円)	時価(円)	評価損益(円)	
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	133,721,250	—	134,445,000	△723,750
合	計	133,721,250	—	134,445,000	△723,750

区分	種類	第4期 (平成22年4月15日現在)			
		契約額等(円)	うち1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	46,599,000	—	46,700,000	△101,000
合	計	46,599,000	—	46,700,000	△101,000

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

(1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。

① 計算期間末日において為替予約の受渡日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値により評価しています。

② 計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっています。

イ) 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後2つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しています。

ロ) 計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い日付で発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しています。

(2) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値により評価しています。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

#### (4) 附属明細表

##### 第1 有価証券明細表

###### (1) 株式

該当事項はありません。

###### (2) 株式以外の有価証券

(平成22年4月15日現在)

種類	通貨	銘柄	口数(口)	評価単価	評価額	備考
投資証券	米ドル	OCEAN FUND EQUITIES MENA OPPORTUNITIES	1,068,172.208	84.2629	90,007,287.94	
		SGAM FUND MONEY MARKET USD	255.102	121.4908	30,992.54	
	小計	銘柄数：2			90,038,280.48	
		組入時価比率：97.2%			(8,410,475,779)	
					100%	
	合計				8,410,475,779	
					(8,410,475,779)	

(注) 1. 通貨種類の小計欄の ( ) 内は、邦貨換算額であります。

2. 合計金額欄の ( ) 内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

3. 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び小計欄の合計金額に対する比率であります。

##### 第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

財務諸表における注記事項として記載しているため省略しております。

**Ocean Fund Equities MENA Opportunities  
SGAM Fund Money Market(USD)**

当ファンドは、「Ocean Fund Equities MENA Opportunities」及び「SGAM Fund Money Market(USD)」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「投資証券」はこれらの投資証券です。

これらの投資証券の状況は次の通りです。なお、以下に記載した情報は本邦における監査の対象外となっております。

「Ocean Fund Equities MENA Opportunities」及び「SGAM Fund Money Market(USD)」(以下「両サブ・ファンド」といいます。)は、ルクセンブルグ国の法に基づいて設立されたオープン・エンド型の投資法人Ocean Fund並びにSGAM Fundを構成するサブ・ファンドのうちの2ファンドであります。「Ocean Fund Equities MENA Opportunities」の2009年9月30日現在、「SGAM Fund Money Market(USD)」の2009年5月31日現在の財務書類は、ルクセンブルグ国において法令および規制等により認められる会計原則に準拠して作成され、PricewaterhouseCoopers S à r. l.による財務諸表監査を受けております。

以下において記載した情報は、現地において作成され、PricewaterhouseCoopers S à r. l.の監査を受けた財務書類について、委託会社が翻訳・抜粋したものであります。

■ 「Ocean Fund Equities MENA Opportunities」の状況

Ocean Fund Equities MENA Opportunities 純資産計算書

2009年9月30日現在

通貨(単位)	USD
有価証券(原価)	307,610,283
<b>資産</b>	
有価証券(時価)	274,534,097
銀行預金	5,583,673
有価証券売却による未収入金	4,500,170
直物為替取引未収入金	-
ファンド発行未収入金	428,945
未収配当金	-
未収利息	-
先物取引未実現評価益	-
為替予約取引未実現評価益	63
株価スワップ(時価)	20,334,802
金利スワップ受入利息	-
オプション時価評価額(買)	-
創立費	-
未収銀行利息	86,766
金利スワップに係る未実現評価益	-
<b>資産合計</b>	<b>305,468,516</b>
<b>負債</b>	
有価証券購入による未払金	1,730,378
直物為替取引未払金	-
ファンド買戻未払金	67,591
未払運用報酬	800,800
未払保管報酬	321,619
未払名義書換代理人報酬	8,883
先物取引未実現評価損	-
為替予約取引未実現評価損	-

未払年次税	16,913
未払専門家報酬	8,577
未払金利スワップ支払利息	-
オプション時価評価額(売)	-
未払利息及び銀行手数料	15,050
その他負債	696,332
<b>負債合計</b>	<b>3,666,143</b>
<b>純資産</b>	<b>301,802,373</b>
<b>一単位当たり純資産*</b>	<b>80.46</b>
<b>発行済投資証券口数*</b>	<b>1,570,687</b>

※サブ・ファンドの発行するJクラス分であります。

#### 主要な会計方針

##### 1. 財務諸表の表示

本財務諸表は、投資信託 (undertakings for collective investment) に関するルクセンブルグの諸規則に準拠して作成されています。

##### 2. 1有価証券および短期金融市場商品の評価

公認の証券取引所に上場されているか、または政府の規制下にあつて通常営業しているその他の公認の公開市場で取り扱われている有価証券および短期金融市場商品は、その最後に入手可能となった終値によって評価されます。なお、そのような市場が複数存在している場合には、当該有価証券または短期金融市場商品の主要市場で最後に入手可能となった終値を基に評価されます。

最後に入手可能となった終値が当該有価証券や短期金融市場商品の公正価値を正確に反映していないと取締役会が判断した場合、その価格は慎重かつ誠実に決定された合理的に予想可能な売却価格を基に取締役会が確定します。

証券取引所に上場されず、もしくは当該取引所で取引されておらず、または政府の規制下にあるその他の市場（「規制市場」）でも取り扱われていない有価証券および短期金融市場商品は、取締役会によって慎重かつ誠実に決定された推定売却価格を基に評価されます。

証券取引所もしくはその他の規制市場のいずれにも上場されず、または当該取引所で取り扱いもされていない短期金融市場商品で、償還までの残存期間が12カ月未満かつ90日超のものは、未収利息を加算した額面価額で評価されます。残存期間が90日以下の短期金融市場商品は償却原価法により評価されます。この方法による評価額が市場価格を近似しているからです。

##### 2.2 その他オープンエンドのUCI（投資信託）の価値は、当該UCIのユニットまたは株式の入手可能な最新の価格を基に評価されています。

##### 3. 投資による純実現損益

投資の実現損益は平均原価法に基づき計算されています。

有価証券明細  
株式及び参加証書

数量	銘柄名	現地通貨	簿価 (USD)	評価額 (USD)	組入 比率 (%)
5,712,140	ABU DHABI NATIONAL HOTELS	AED	11,182,153	6,982,605	2.31
10,864,741	ALDAR PROPERTIES PJSC	AED	22,421,110	17,777,315	5.90
15,631,600	ARABTEC HOLDING CO	AED	10,951,897	14,299,308	4.74
1,965,350	BANK MUSCAT SAOG	OMR	3,840,388	4,650,011	1.54
723,330	COMMERCIAL BANK OF QATAR	QAR	17,238,080	15,871,334	5.26
105,010	COMMERCIAL BANK OF QATAR	USD	1,223,212	493,547	0.16
381,305	CREDIT SUISSE INTL/AL MOUWASAT MEDICAL SERVICES 16/03/2011	USD	5,756,732	5,973,303	1.98
41,406	CREDIT SUISSE INTL/ALMARAI CO LTD 22/12/2010	USD	1,785,417	1,854,841	0.61
87,420	CREDIT SUISSE INTL/SAUDI BASIC INDUSTRIES CORP 22/12/2010	USD	1,318,294	1,858,984	0.62
778,125	CREDIT SUISSE INTL/SAUDI INTERNATIONAL PETROCHE 23/01/2011	USD	3,958,752	4,460,897	1.48
438,193	CREDIT SUISSE SEA HOUSING SERVICES 07/02/2010	USD	7,237,111	7,215,001	2.39
1,511,765	DEUTSCHE BANK AG LONDON/ALINMA AB 01/10/2012	USD	4,729,049	5,361,293	1.78
481,722	DEUTSCHE BANK AG LONDON/ETIHAD ETISALAT CO 01/10/2012	USD	4,484,512	5,292,097	1.75
329,791	DEUTSCHE BANK AG LONDON/SAMBA FINANCIAL GROUP 01/10/2012	USD	3,935,536	4,990,440	1.65
298,827	DEUTSCHE BANK AG LONDON/SAUDI BASIC INDUSTRIES CORP 01/10/2012	USD	3,966,818	6,354,547	2.11
759,079	DOHA BANK QSC	QAR	13,351,782	10,652,169	3.53
15,165,160	DRAKE & SCULL INTERNATIONAL	AED	3,756,220	4,293,907	1.42
832,630	EGYPTIAN INTERNATIONAL PHARMACEUTICAL INDUSTRIAL CO	EGP	4,966,569	5,288,948	1.75
5,302,892	EPICURE QATAR EQUITY OPPORTUNITIES PLC	USD	5,847,806	3,791,568	1.26
1,258,856	FIRST GULF BANK PJSC	AED	7,273,698	5,706,405	1.89
2,892,103	GALFAR ENGINEERING & CONTRACTING SAOG	OMR	4,832,485	4,874,770	1.62
1,350,654	GULF INTERNATIONAL SERVICES OSC	QAR	9,208,532	12,351,466	4.09
1,000,000	HSBC BANK PLC/ DUBAI FINANCIAL MARKET 05/05/2011	USD	635,900	639,800	0.21
113,440	HSBC BANK PLC/ALMARAI CO LTD 07/11/2011	USD	4,200,755	5,081,707	1.68
667,160	HSBC BANK PLC/BANK OF PALESTINE PLC 18/06/2012	USD	2,310,352	2,455,149	0.81
238,640	HSBC BANK PLC/CO FOR COOPERATIVE INSURANCE 24/09/2011	USD	1,784,765	2,933,446	0.97
220,308	HSBC BANK PLC/ETIHAD ETISALAT CO 23/01/2012	USD	2,078,332	2,420,257	0.80
405,934	HSBC BANK PLC/FAWAZ ABDULAZIZ ALHORAIR & C 05/09/2011	USD	3,670,562	3,550,287	1.18
1,319,563	HSBC BANK PLC/PALESTINE DEVELOPMENT & INV 18/06/2012	USD	1,832,525	1,662,649	0.55
215,122	HSBC BANK PLC/SAMBA FINANCIAL GROUP 05/09/2011	USD	2,864,813	3,255,254	1.08
98,265	HSBC BANK PLC/SAUDI BASIC INDUSTRIES CORP 22/08/2011	USD	1,861,094	2,089,602	0.69
311,481	HSBC BANK PLC/SAVOLA 16/03/2012	USD	1,896,621	2,333,846	0.77

236,555	INDUSTRIES QATAR	QAR	5,596,963	7,405,718	2.45
2,942,808	MABANEE CO SAKC	KWD	5,973,286	7,591,519	2.52
291,552	MORGAN STANLEY/SAUDI CABLE CO 20/09/2010	USD	1,648,231	1,671,433	0.55
277,218	MORGAN STANLEY/SAUDI INTERNATIONAL PETROCHE 19/09/2010	USD	2,369,770	2,668,473	0.88
1,426,183	NATIONAL SOCIETE GENERALE BANK SAE	EGP	8,602,890	7,402,928	2.45
123,853	OMAN CEMENT CO	OMR	255,411	233,850	0.08
475,512	OMAN TELECOMMUNICATIONS CO	OMR	1,734,707	1,728,961	0.57
476,510	POULINA GROUP	TND	2,635,436	2,574,176	0.85
715,292	QATAR ELECTRICITY & WATER CO	QAR	21,601,021	19,977,193	6.63
10,500	QATAR FUEL CO	QAR	405,180	487,023	0.16
1,750,099	QATAR GAS TRANSPORT CO NAKILAT	QAR	9,291,817	12,399,738	4.11
873,988	QATAR NAVIGATION	QAR	21,697,830	16,296,916	5.41
1,345,266	SIDI KERIR PETROCHEMICALS CO	EGP	2,501,242	2,848,421	0.94
5,894,118	SOROUH REAL ESTATE CO	AED	5,964,575	6,338,525	2.10
6,833,128	UNION NATIONAL BANK/ABU DHABI	AED	14,613,416	8,092,470	2.68
<b>株式及び参加証書合計</b>			281,293,647	274,534,097	90.96

その他譲渡可能証券

数量	銘柄名	現地通貨	簿価 (USD)	評価額 (USD)	組入 比率 (%)
17,310,462	TAMWEEL PJSC	AED	26,316,636	-	0.00
<b>その他譲渡可能証券合計</b>			26,316,636	-	0.00

<b>合 計</b>			307,610,283	274,534,097	90.96
------------	--	--	-------------	-------------	-------

■ 「SGAM Fund Money Market (USD)」 の状況

SGAM Fund Money Market (USD) 純資産計算書

2009年5月31日現在

通貨(単位)	USD
有価証券(原価)	298,070,660
<b>資産</b>	
有価証券(時価)	298,724,787
銀行預金	41,071,577
有価証券売却による未収入金	-
ファンド発行未収入金	-
現先取引による未収入金	-
オプション時価評価額(買)	-
株価スワップ(時価)	-
未収利息及び未収配当金	137,139
その他資産	4,978
為替予約取引未実現評価益	3,748
先物取引未実現評価益	-
スワップ未実現評価益	-
<b>資産合計</b>	<b>339,942,229</b>
<b>負債</b>	
当座借越	-
有価証券購入による未払金	-
ファンド買戻未払金	-
現先取引による未払金	-
オプション時価評価額(売)	-
未払運用報酬	150,194
未払成功報酬	-
その他未払費用	370,890
未払税金等	5,218
未払利息	279
その他負債	-
為替予約取引未実現評価損	26,555
先物取引未実現評価損	-
スワップ未実現評価損	-
<b>負債合計</b>	<b>553,136</b>
<b>純資産</b>	<b>339,389,093</b>
<b>一単位当たり純資産*</b>	<b>121.2124</b>
<b>発行済投資証券口数*</b>	<b>136,657</b>

※ サブ・ファンドの発行するJクラス分であります。



## 主要な会計方針

### 1. 有価証券および短期金融市場商品の評価

公認の証券取引所に上場されているか、または政府の規制下にあつて通常営業しているその他の公認の公開市場で取り扱われている有価証券および短期金融市場商品は、その最後に入手可能となった終値によって評価されます。なお、そのような市場が複数存在している場合には、当該有価証券または短期金融市場商品の主要市場で最後に入手可能となった終値を基に評価されます。

最後に入手可能となった終値が当該有価証券や短期金融市場商品の公正価値を正確に反映していないと取締役会が判断した場合、その価格は慎重かつ誠実に決定された合理的に予想可能な売却価格を基に取締役会が確定します。

証券取引所に上場されず、もしくは当該取引所で取引されておらず、または政府の規制下にあるその他の市場（「規制市場」）でも取り扱われていない有価証券および短期金融市場商品は、取締役会によって慎重かつ誠実に決定された推定売却価格を基に評価されます。

証券取引所もしくはその他の規制市場のいずれにも上場されず、または当該取引所で取り扱いもされていない短期金融市場商品で、償還までの残存期間が12カ月未満かつ90日超のものは、未収利息を加算した額面価値で評価されます。残存期間が90日以下の短期金融市場商品は償却原価法により評価されます。この方法による評価額が市場価格を近似しているからです。

### 2. 金融先物取引の評価

期末における金融先物取引の当初差入証拠金は、「銀行預金」に含まれます。未実現損益は次のように計上されます：

- 「先物取引未実現評価益／（損）」は、「純資産計算書」に計上
- 「先物取引の未実現純増／（減）の変化」は、「運用計算書」に計上

先物取引は、その先物が上場されている証券取引所の終値に基づいた清算価値で評価されます。

### 3. 外国為替予約の評価

外国為替予約は、契約の残存期間に対応する先物為替相場で評価されます。

## 有価証券明細（株式以外）

数量	銘柄名	現地通貨	簿価 (USD)	評価額 (USD)	組入 比率 (%)
6,000,000	BANCO BILBAO VIZCAYA 28/08/2009	EUR	8,330,575	8,331,894	2.45
2,000,000	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTARIA 10/06/2009	EUR	2,522,880	2,535,297	0.75
5,000,000	BANCO DE SAN PAOLO 0% 17/07/2009	EUR	6,562,870	6,614,015	1.95
4,000,000	BANCO DI BRESCIA 17/06/2009	EUR	5,135,075	5,154,754	1.52
4,000,000	BANCO POP ESPAN 04/06/2009	EUR	5,012,741	5,035,009	1.48
5,000,000	BANCO SANTANDER 08/06/2009	EUR	6,230,991	6,257,179	1.84
4,000,000	BANQUE POP LOR 31/08/2009	EUR	5,567,427	5,568,223	1.64
2,000,000	BANQUE POPULAIRE 25/06/2009	EUR	2,705,511	2,727,254	0.80
2,000,000	BARCLAYS 04/06/2009	EUR	2,508,476	2,517,528	0.74
3,000,000	BARCLAYS 31/08/2009	EUR	4,174,809	4,175,447	1.23
3,000,000	BARCLAYS BANK PLC 06/08/2009	EUR	3,973,399	3,977,107	1.17
7,000,000	BAYERISCHE LANDESBANK 11/06/2009	EUR	8,812,096	8,808,732	2.60
5,000,000	BFCM 20/08/2009	USD	4,992,218	4,993,402	1.47
5,000,000	BFCM 28/07/2009	USD	4,987,519	4,992,456	1.47
5,000,000	CA PARIS 15/06/2009	EUR	6,366,801	6,354,965	1.87
2,000,000	CAIXA GENERAL 08/07/2009	EUR	2,672,755	2,691,735	0.79
10,000,000	CAIXA GERAL DEPOSITOS 15/07/2009	EUR	13,166,231	13,243,873	3.90
3,000,000	CALYON PARIS 06/08/2009	EUR	3,975,425	3,978,517	1.17
8,000,000	CCCM 04/08/2009	EUR	10,519,411	10,529,229	3.10
5,000,000	CNCA 26/06/2009	EUR	6,742,795	6,790,588	2.00
3,000,000	CREDIT INDUSTRIEL ET 01/06/2009	EUR	3,785,091	3,803,005	1.12
10,000,000	DEXIA 12/06/2009	USD	9,966,888	9,996,761	2.95
6,000,000	DEXIA 19/08/2009	USD	5,988,217	5,990,138	1.76
10,000,000	EBS BUILDING SOCIETY 09/08/2009	USD	9,963,842	9,975,240	2.94
3,000,000	GE CAP 0% 17/07/2009	EUR	3,941,295	3,970,146	1.17
2,000,000	GE CAPITAL 21/07/2009	EUR	2,600,976	2,611,462	0.77

5,000,000	ING BANK NV16/07/2009	EUR	6,606,540	6,620,338	1.95
8,000,000	INTESA 0% 06/07/2009	EUR	10,720,668	10,715,942	3.16
2,000,000	LANDESBANK HESSEN 13/08/2009	EUR	2,717,831	2,719,741	0.80
5,000,000	LANDESBANK HESSEN 19/06/2009	EUR	6,461,970	6,494,356	1.92
5,000,000	LANDESBANK HESSEN 22/07/2009	EUR	6,438,928	6,483,233	1.91
5,000,000	LLOYDS TSB BANK PLC 07/07/2009	EUR	6,712,335	6,723,032	1.98
6,000,000	NATIONWIDE BUILDING SOCIETY 16/06/2009	EUR	7,647,426	7,676,208	2.26
2,000,000	NATIXIS 0.2% 19/08/2009	USD	1,994,902	1,995,733	0.59
5,000,000	NORDEUTSCHE 09/07/2009	EUR	6,613,348	6,632,133	1.95
4,000,000	NORDEA BANK AB 02/09/2009	EUR	5,538,852	5,538,997	1.63
5,000,000	NORDEA BANK AB 07/07/2009	EUR	6,692,879	6,715,751	1.98
5,000,000	POHJOLA BANK PLC 18/08/09	EUR	6,755,147	6,758,600	1.99
6,000,000	RABOBANK NEDERLAND 23/06/2009	EUR	8,216,702	8,103,907	2.39
3,000,000	RBS 25/06/2009	EUR	4,055,063	4,090,111	1.22
2,000,000	ROYAL BANK OF SCOTLAND 26/06/2009	USD	1,993,174	1,998,294	0.59
5,000,000	SANTANDER 10/06/2009	EUR	6,302,868	6,337,913	1.87
4,000,000	SOCIETE GENERALE 02/09/2009	EUR	5,538,357	5,538,508	1.63
5,000,000	SOCIETE GENERALE 24/08/2009	EUR	6,801,773	6,803,972	2.00
4,000,000	SVENSKA HANDELSBANKE 06/08/2009	EUR	5,300,566	5,304,689	1.56
2,000,000	LLOYDS TSB BANK CD 08/07/2009	EUR	2,681,234	2,695,014	0.79
4,000,000	INTESA SANPAOLO BANK 13/08/2009	EUR	5,439,611	5,442,530	1.61
5,000,000	UBS 29/06/2009	USD	4,983,085	4,995,321	1.47
5,000,000	ULSTER BANK 29/06/2009	USD	4,980,492	4,994,604	1.47
4,000,000	UNICREDIT SPA 15/07/2009	EUR	5,272,194	5,278,965	1.56
8,000,000	UNICREDIT SPA 21/07/2009	EUR	10,398,401	10,442,939	3.08
合計			298,070,660	298,724,787	88.01

## 2 ファンドの現況

SG アラブ株式ファンド

純資産額計算書

平成22年4月末日

	円
I 資産総額	8,445,110,635
II 負債総額	23,149,862
III 純資産総額(I - II)	8,421,960,773
IV 発行済口数	15,049,770,899
V 1口当たり純資産額(III/IV) (1万口当たり純資産額)	0.5596 (5,596)

《参考》

オーシャン・ファンド・エクイティーズ MENA オポチュニティーズ

純資産額計算書

平成22年4月末日

	ドル
I 資産総額	273,671,493.5200
II 負債総額	2,682,931.9300
III 純資産総額 (I - II)	270,988,561.5900
IV 発行済数量 (口) ※	1,082,456.29
V 1口当たり純資産額※	83.3943

※ サブファンドの発行するJクラス分であります。

SGAM Fund マネー マーケット (USD)

純資産額計算書

平成22年4月末日

	ドル
I 資産総額	252,464,569.0100
II 負債総額	440,540.9700
III 純資産総額 (I - II)	252,024,028.0400
IV 発行済数量 (口) ※	260,666.26
V 1口当たり純資産額※	121.5026

※ サブファンドの発行するJクラス分であります。

## 5 設定及び解約の実績

計算期間	設定数量 (口)	解約数量 (口)
第1期計算期間(平成20年1月31日～平成20年10月15日)	36,657,881,028	7,483,405,836
第2期計算期間(平成20年10月16日～平成21年4月15日)	618,020,914	4,893,312,711
第3期計算期間(平成21年4月16日～平成21年10月15日)	2,613,326,110	6,970,686,404
第4期計算期間(平成21年10月16日～平成22年4月15日)	900,677,963	6,036,003,364

(注1) 本邦外における設定および解約の実績はありません。

(注2) 第1期計算期間における設定数量は、当初申込期間中の設定数量を含みます。

アムンディ・アラブ株式ファンド

アムンディ・アラブ株式ファンド